



JTRUST

2018年3月期 第3四半期

決算説明資料

2018年2月

Jトラスト株式会社



免責事項

- 当期（2018年3月期）より国際財務報告基準（IFRS）を採用しています。
これにともない、過去の実績についてもレビュー済のIFRS数値を記載しています。
- 本資料に記載された将来情報などは資料作成時点での当社の認識、意見、判断又は予測であり、その実現を保証するものではありません。
様々な要因により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。
- また、説明会および本資料は、当社をご理解いただくための情報提供を目的としたものであり、当社または子会社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。
- 各ページに記載の数値は、表示単位未満を切捨て表示しています。また表およびグラフ横に記載しております差異ならびに前年同期比等は、表示の億単位を用いて計算しております。

1. 決算のポイント
2. 第3四半期連結決算概要
3. セグメント別業績
4. 連結業績 通期計画進捗
5. 現状の取り組みと今後の戦略について

APPENDIX

1. 決算のポイント

経営企画部部長 広報・IR部門担当
本部 英彦

主力の金融事業がけん引役となり 連結営業黒字を確保

投資事業

エンタメ事業

国内/海外金融事業



2. 第3四半期連結決算概要

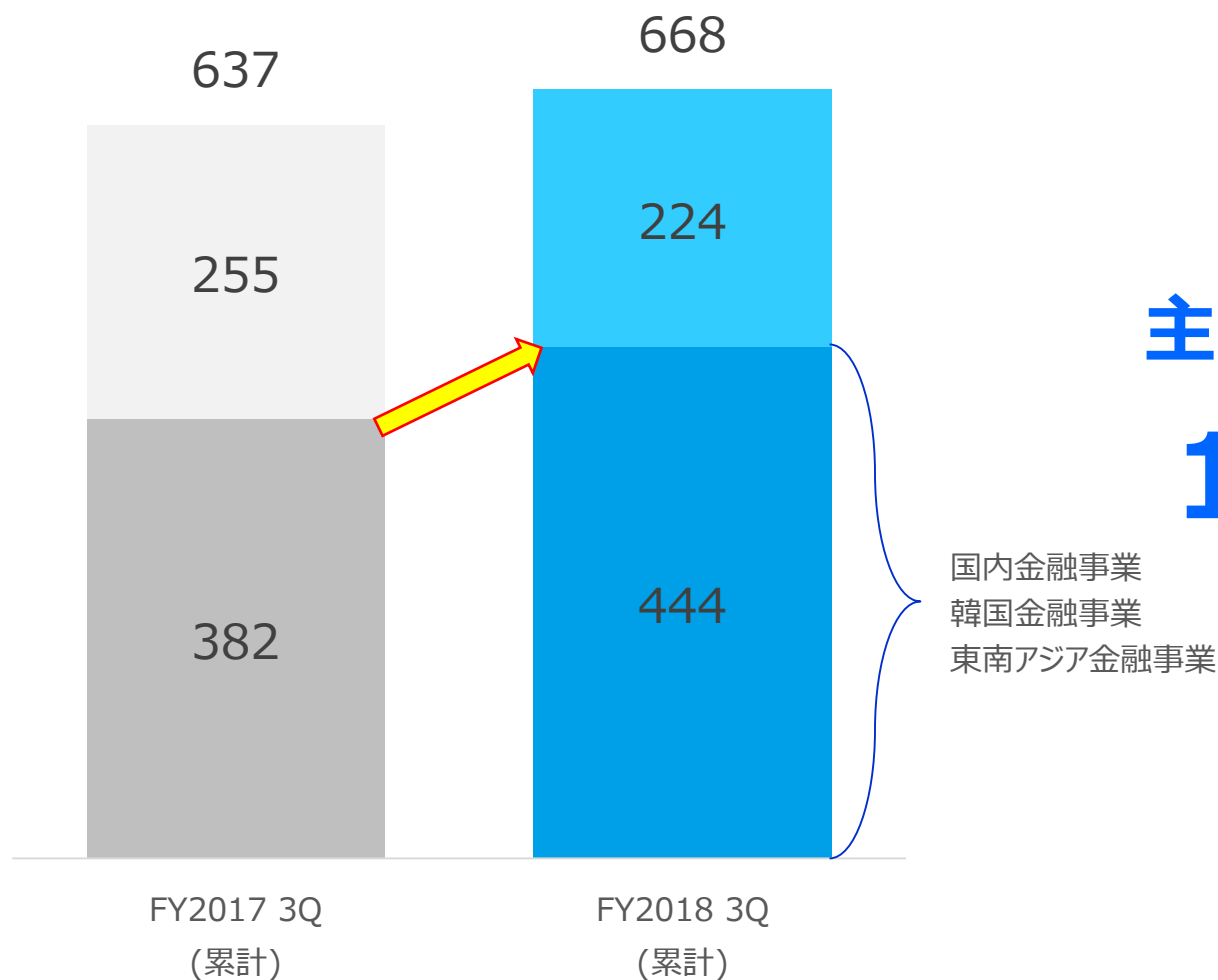
連結業績（前年同期比）

	FY2017 3Q (累計)	FY2018 3Q (累計)	差異
営業収益	637億円	668億円	+31億円
営業利益	76億円	26億円	-50億円
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	61億円	-0億円	-61億円
EBITDA*	104億円	29億円	-75億円

*EBITDA = IFRS営業利益 + 減価償却費 - その他の収益 + その他の費用

単位：億円

営業収益



主力の金融事業が
16%増収

連結業績（前年同期比）

	FY2017 3Q (累計)	FY2018 3Q (累計)	差異
営業収益	637億円	668億円	+31億円

営業利益	76億円	26億円	-50億円
------	------	------	-------

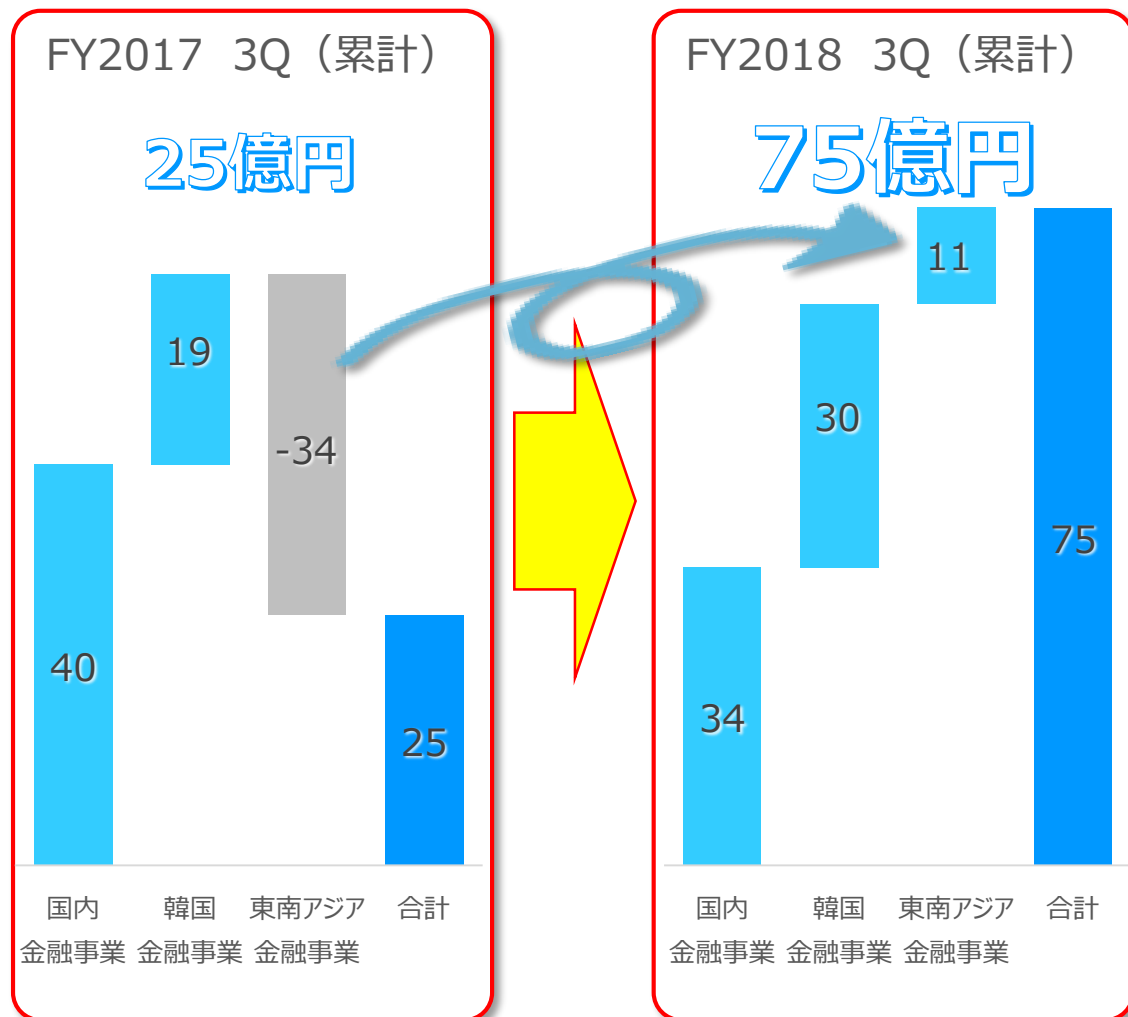
	FY2017 3Q (累計)	FY2018 3Q (累計)	差異
--	-------------------	-------------------	----

金融3事業	25億円	75億円	+50億円
-------	------	------	-------

投資事業	77億円	-27億円	-104億円
------	------	-------	--------

その他	-26億円	-22億円	+4億円
-----	-------	-------	------

単位：億円



金融3事業の成長が
黒字の基盤に

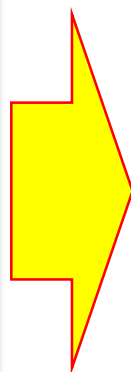
単位：億円

FY2017 3Q（累計）

77億円

77

投資事業



FY2018 3Q（累計）

-27億円

-27

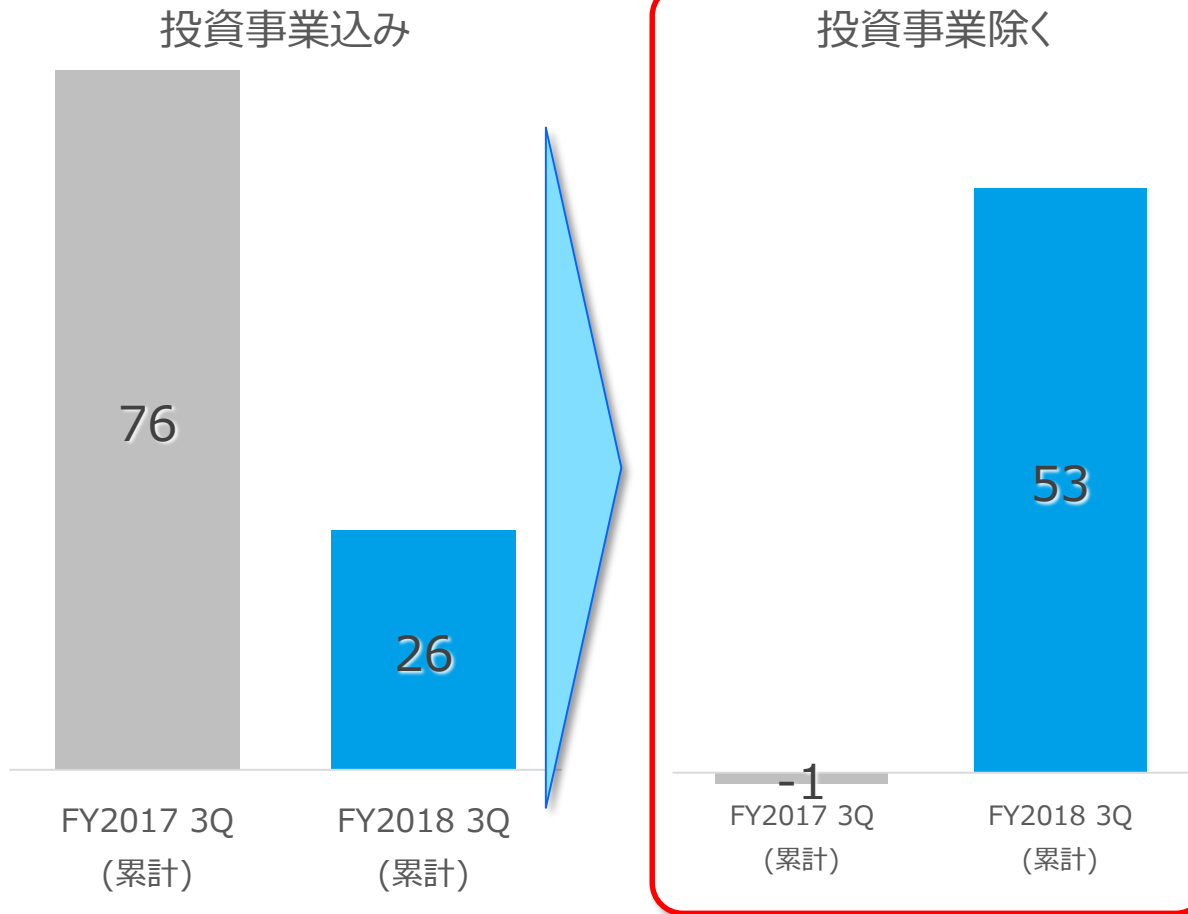
投資事業

**投資株式の評価
による影響が
利益の押下げ要因**

投資事業損益を控除した営業利益

単位：億円

営業利益

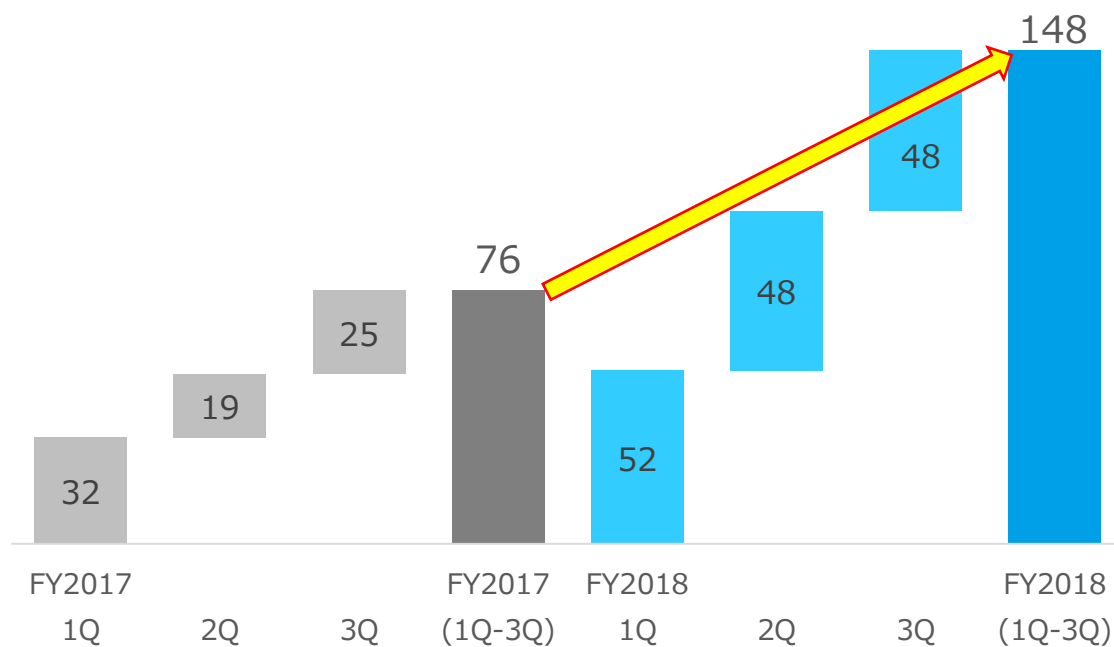


**投資事業を
控除すれば
50億円超の増益**

事業の利益（概算）

単位：億円

評価性部分を除いた事業の利益



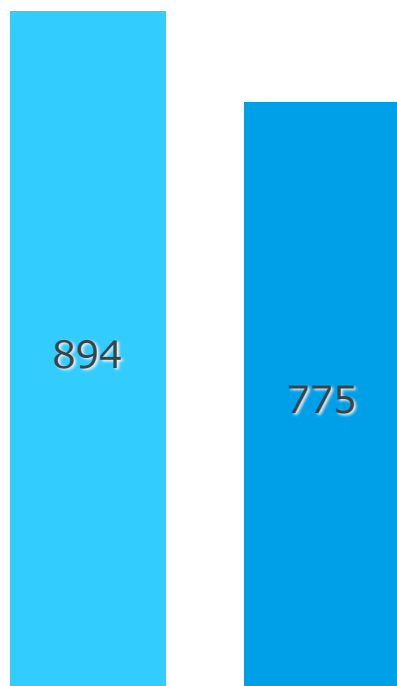
前年同期比
95%増！

	FY2017 1Q	2Q	3Q	FY2017 (1Q-3Q)	FY2018 1Q	2Q	3Q	FY2018 (1Q-3Q)
営業損益 (A)	9	-6	73	76	25	16	-14	27
評価性引当等 (B)	36	18	23	77	29	39	24	92
投資事業損益 (C)	13	-7	71	77	2	7	-38	-29
事業の利益 (A+B-C)	32	19	25	76	52	48	48	148

※評価性引当等 = 貸倒引当金繰入額、減価償却費

単位：億円

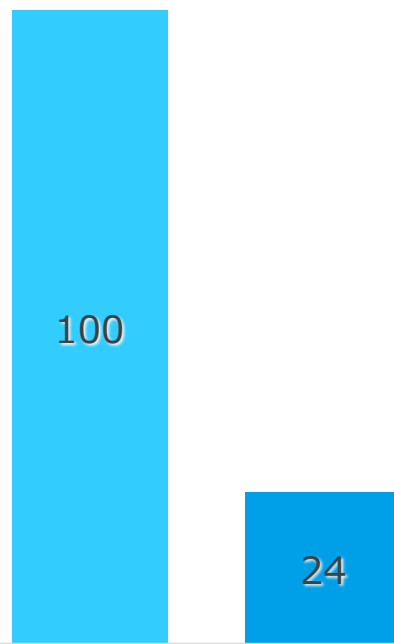
営業収益



当初計画

修正計画

営業利益



当初計画

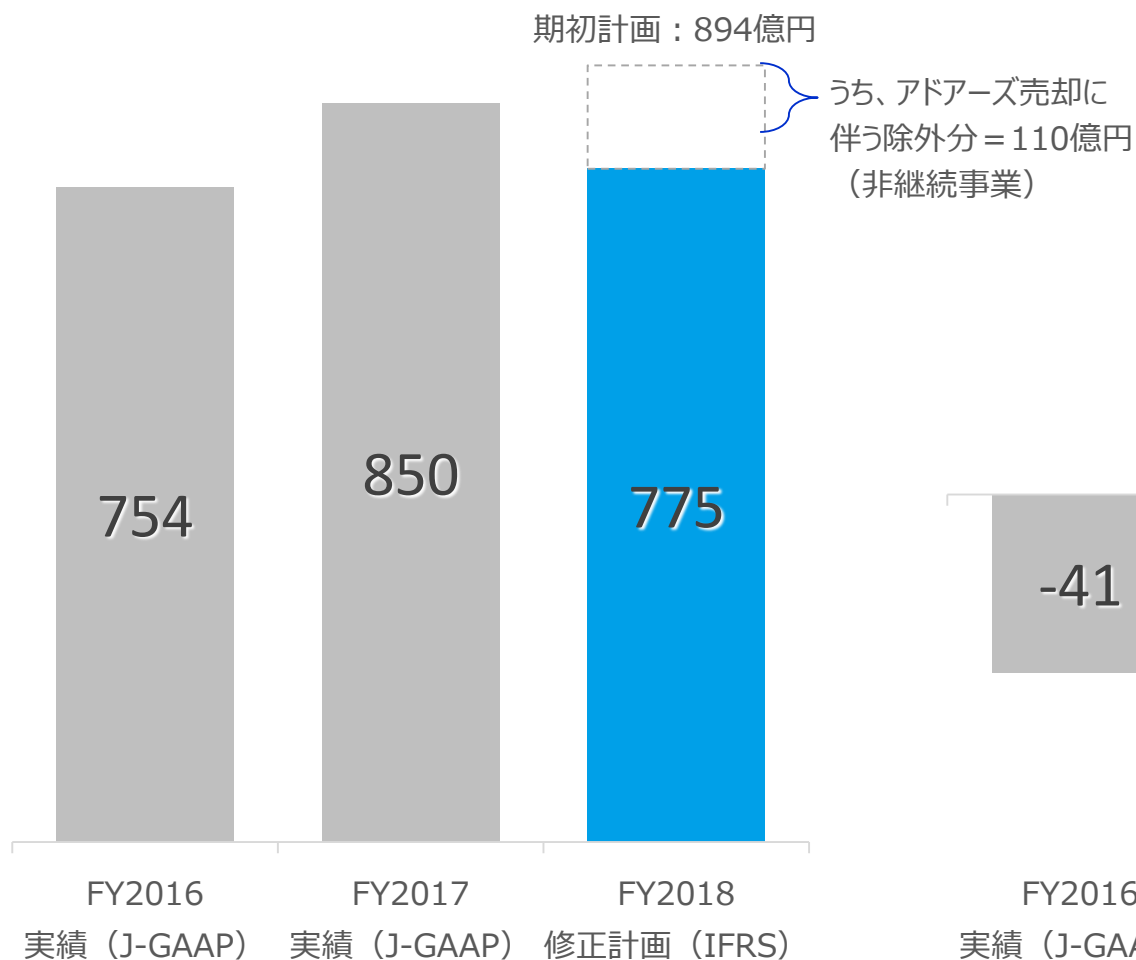
修正計画

**3Q決算と同時に
修正計画を発表**

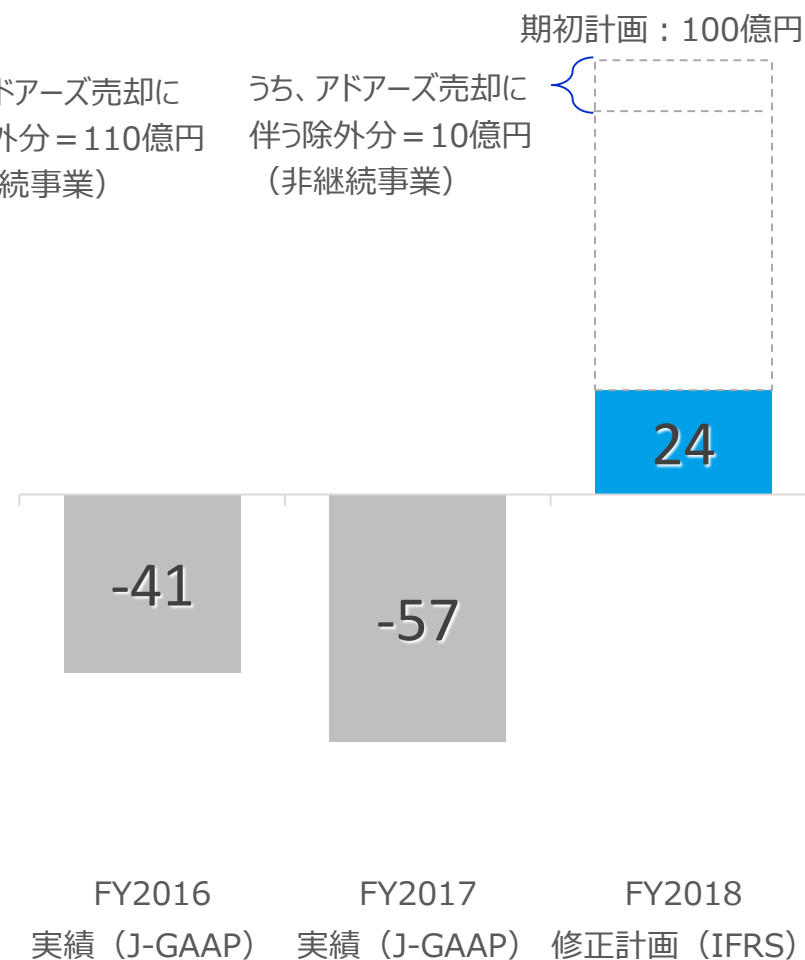
業績予想の修正

単位：億円

営業収益



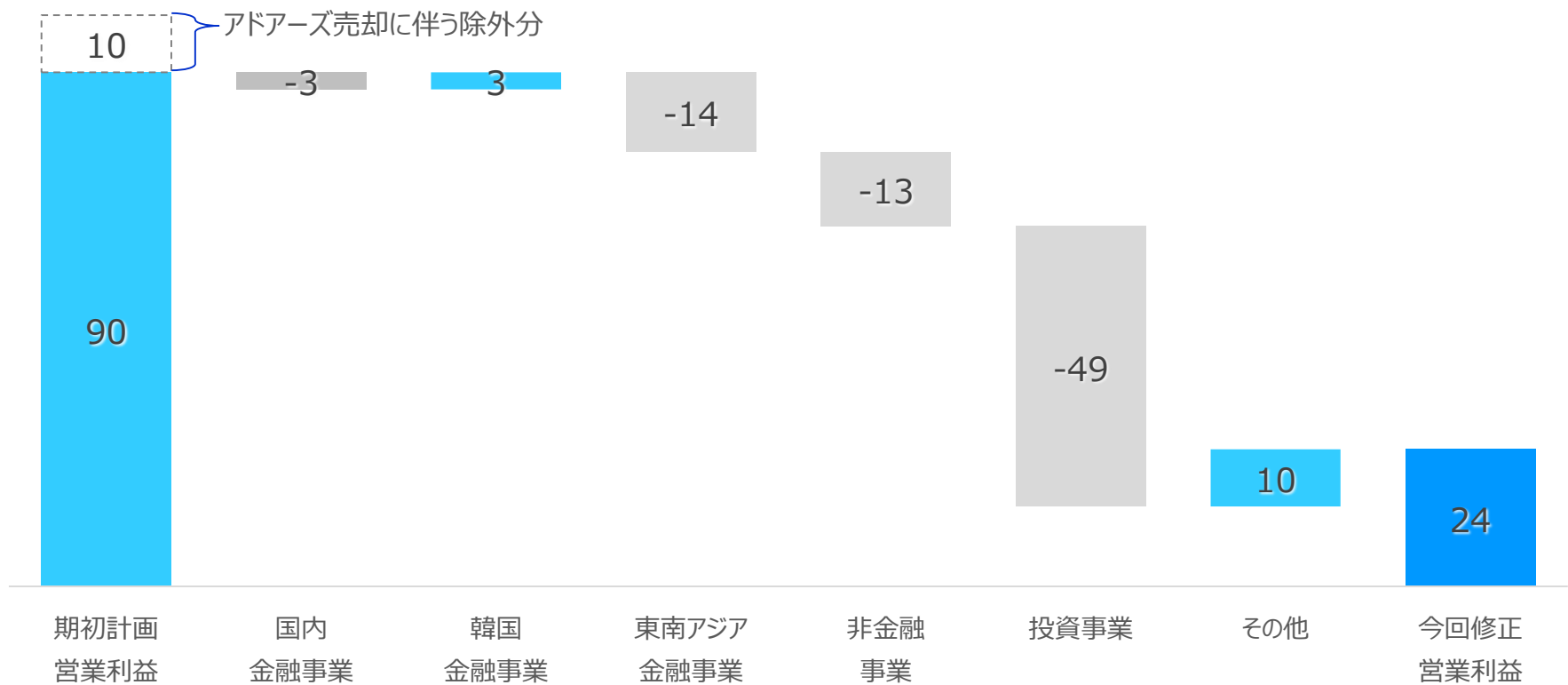
営業利益



業績予想の修正

単位：億円

セグメント別 期初計画からの差異

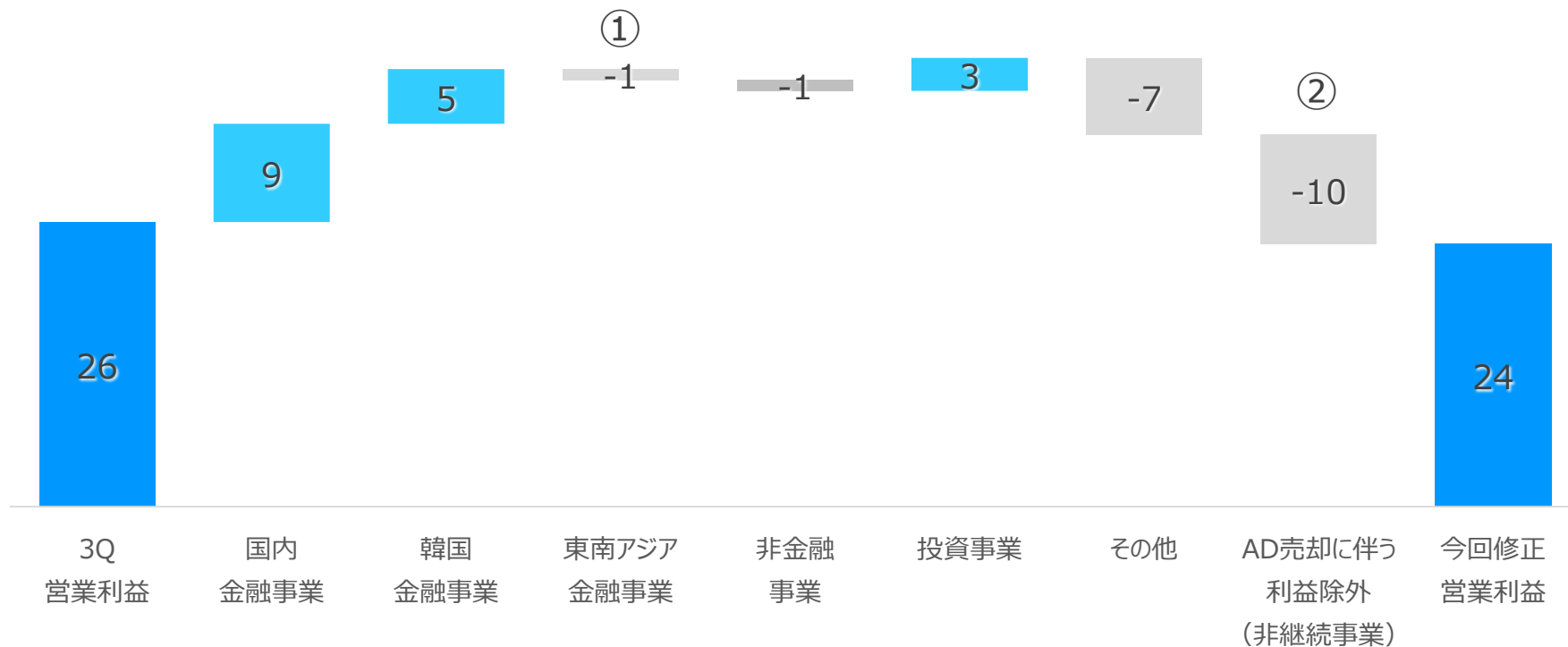


業績予想の修正

単位：億円

第4四半期のセグメント別営業利益の見通し

- ① 東南アジア：JTIIにおいて簿価修正損が発生する可能性
- ② AD売却：グループアウトにともない非継続事業として利益を除外



3. セグメント別業績

セグメント別営業収益（前年同期比）

	FY2017 3Q (累計)	FY2018 3Q (累計)	差異
国内金融事業	70億円	70億円	±0億円
韓国金融事業	208億円	267億円	+59億円
東南アジア金融事業	104億円	105億円	+1億円
投資事業	76億円	70億円	-6億円
非金融事業	159億円	139億円	-20億円
その他	20億円	17億円	-3億円
合計	637億円	668億円	+31億円

セグメント別営業利益（前年同期比）

	FY2017 3Q (累計)	FY2018 3Q (累計)	差異
国内金融事業	40億円	34億円	-6億円
韓国金融事業	19億円	30億円	+11億円
東南アジア金融事業	-34億円	11億円	+45億円
投資事業	77億円	-27億円	-104億円
非金融事業	1億円	-4億円	-5億円
その他	-27億円	-18億円	+9億円
合計	76億円	26億円	-50億円

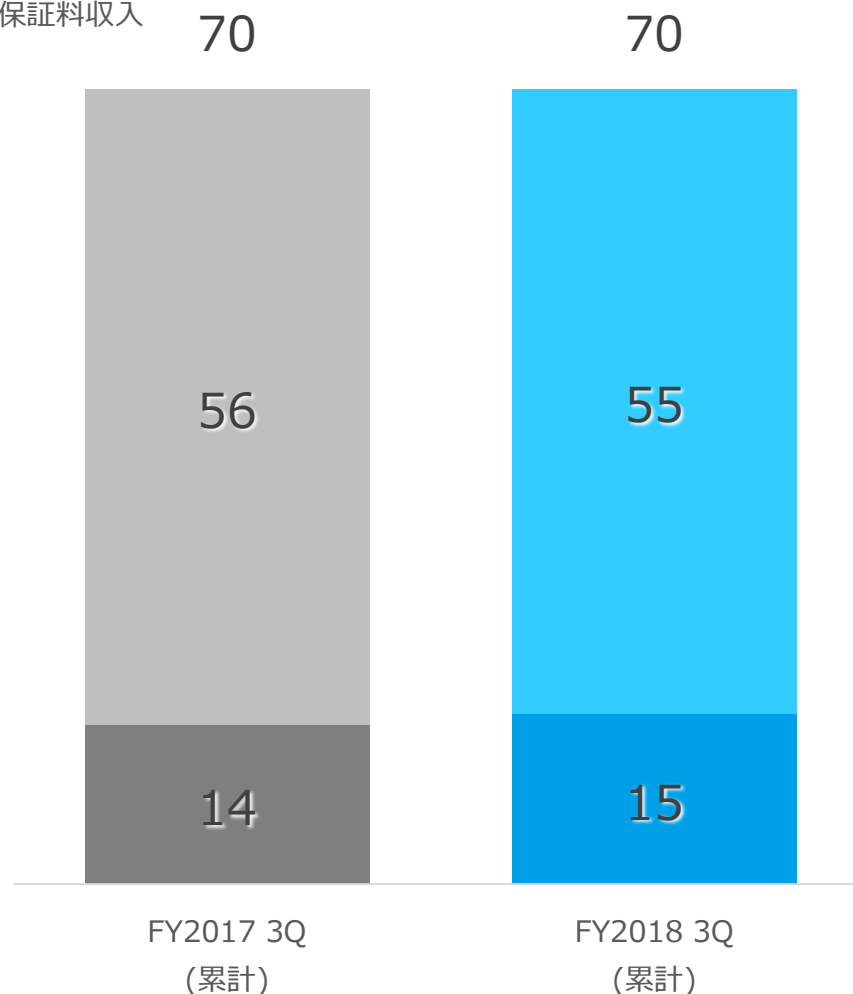
3. セグメント別業績

3-1. 国内金融事業

単位：億円

営業収益

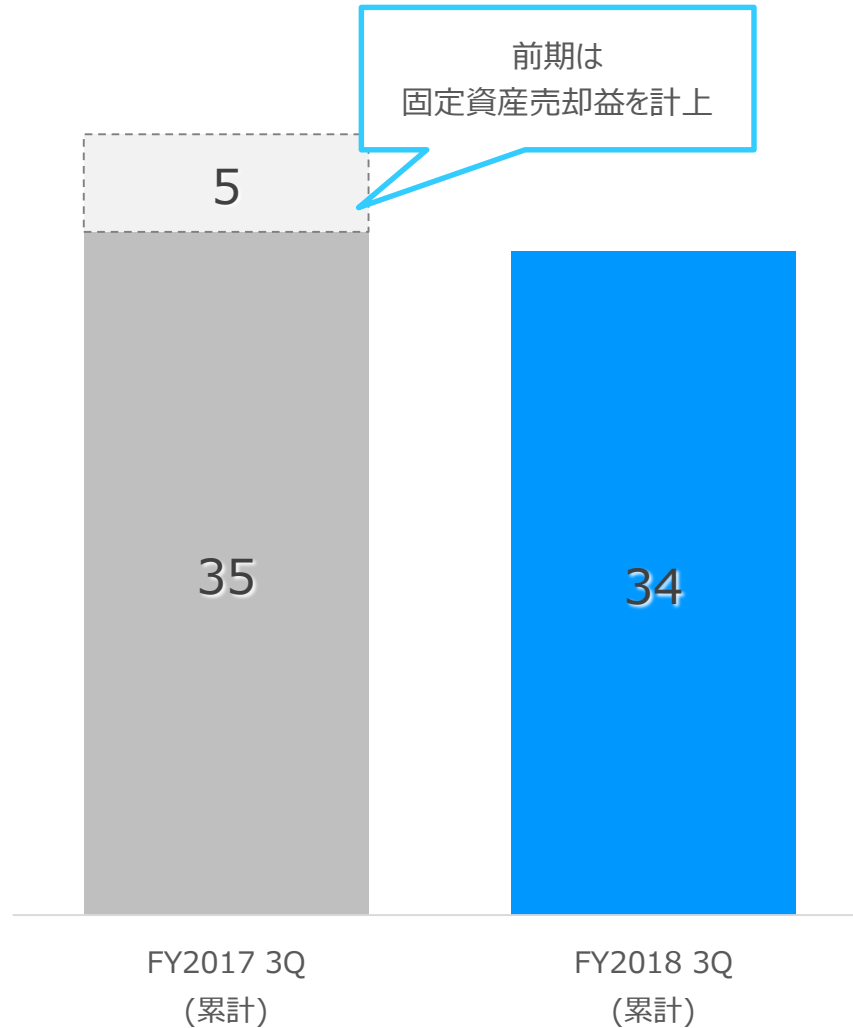
薄色 = 債権回収等の収入
濃色 = 保証料収入



アセットの積み上げで
保証料収入が
1億円増加

単位：億円

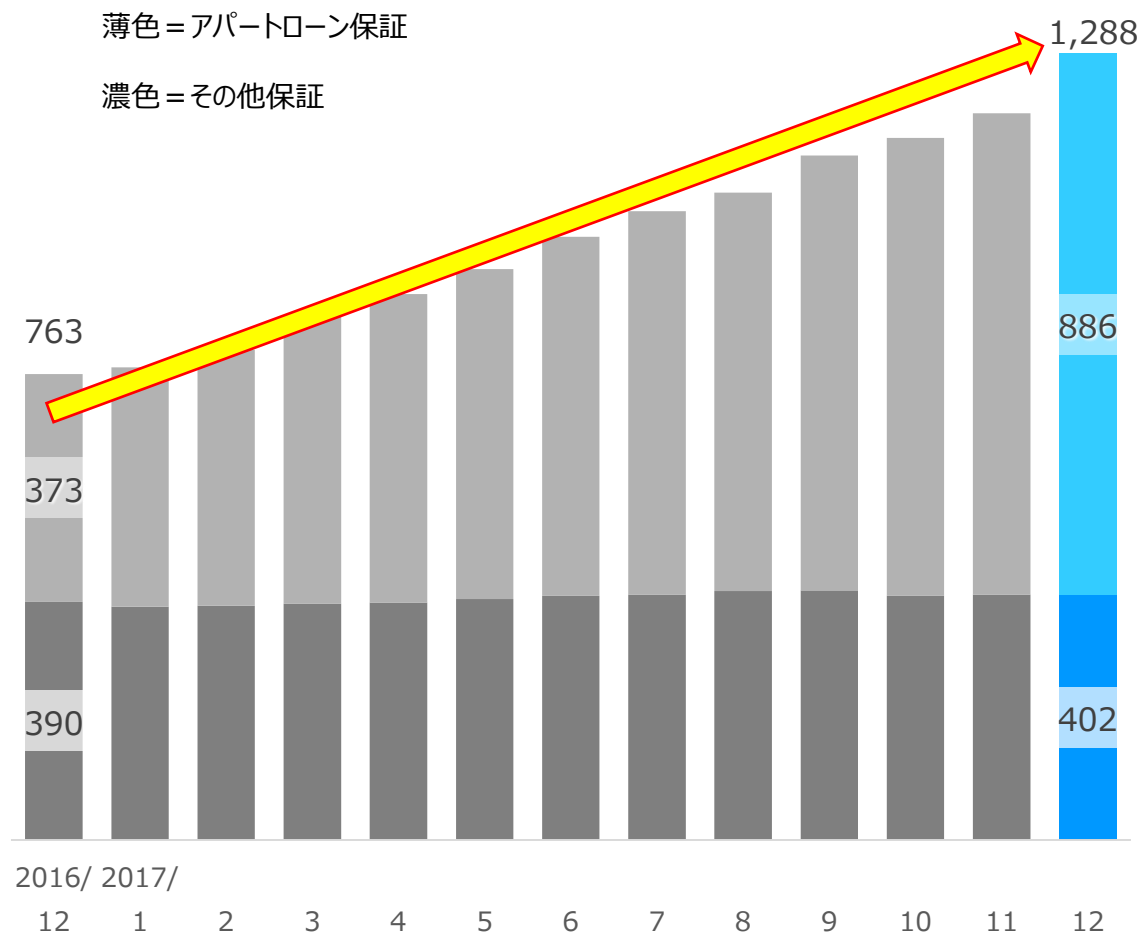
営業利益



前年同期と
ほぼ同水準

単位：億円

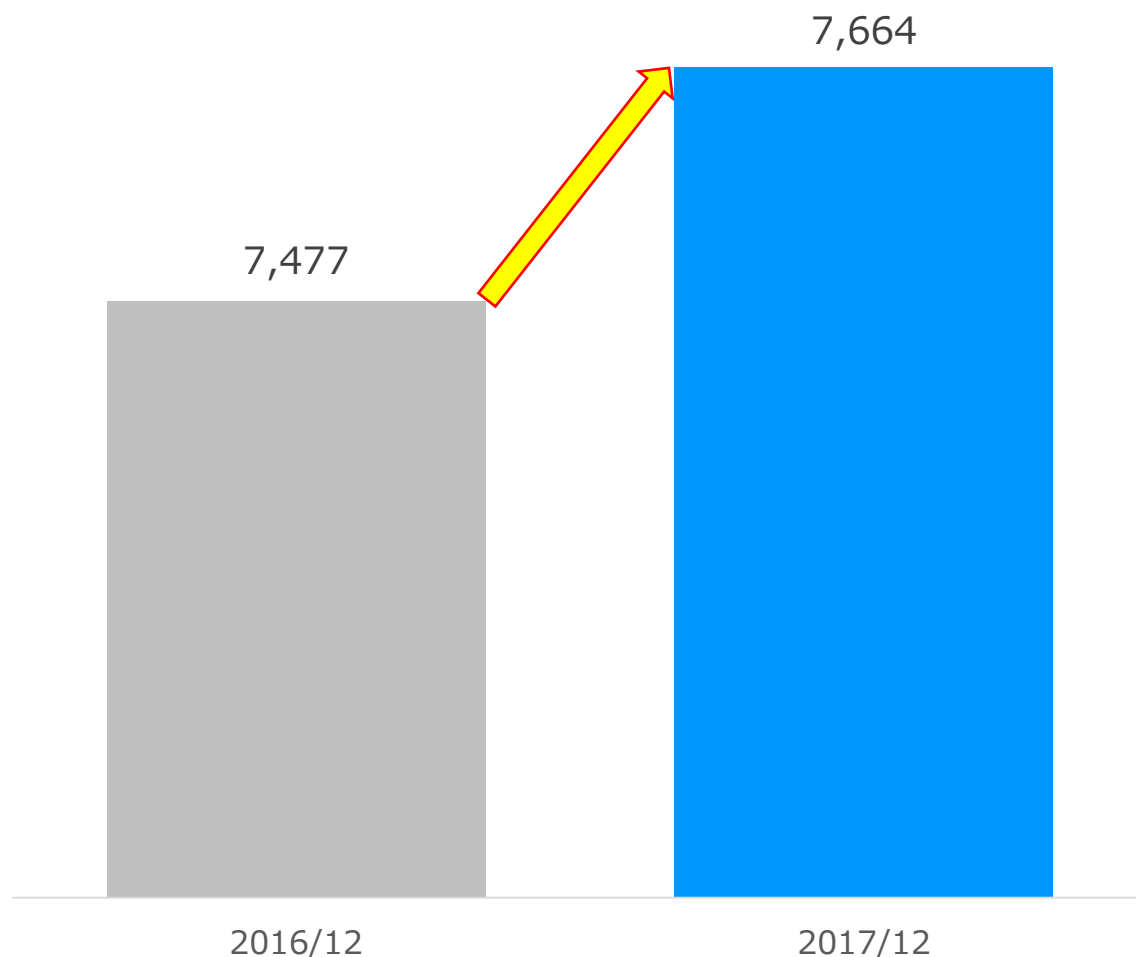
保証残高の推移



前年同月比
69%増

単位：億円

債権回収事業における請求債権残高



前年同月比
187億円増

請求債権残高は買取債権および回収受託債権を含む
旧富士通社より譲り受けた簿外債権は含まず

単位：億円

国内金融事業における不良債権残高

合計
約9,000億円

1,300

日本保証において
武富士より承継した
簿外債権

7,664

パルティールにて
取扱う債権

豊富な債権と高い回収率が
安定した利益の「源泉」

- ✓ 武富士より承継した簿外債権の中でも、請求可能な債権が、約1,300億円存在
- ✓ パルティール債権回収にて取扱う債権は7,664億円
- ✓ サービサー事業のIRRは40%

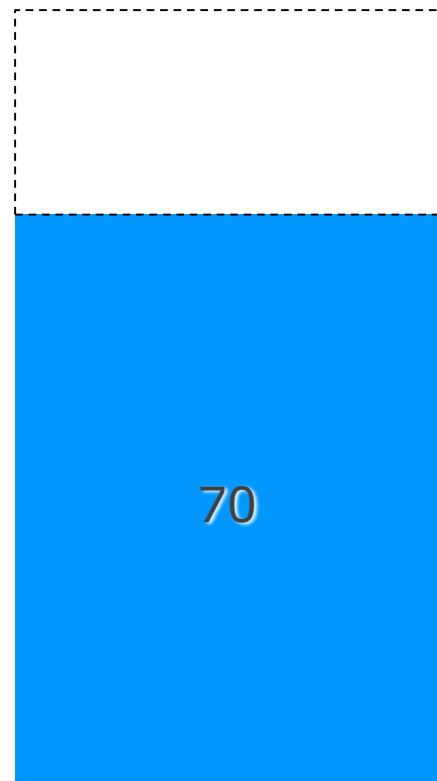
国内金融事業 通期計画進捗（修正後）

単位：億円

営業収益

通期計画 95

実績値 70



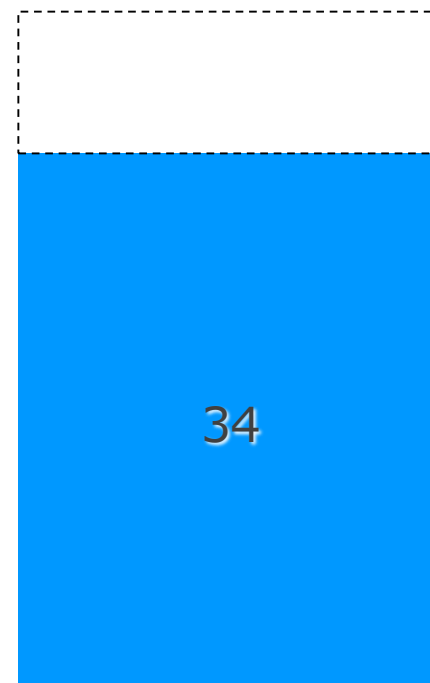
FY2018 3Q
(累計)

進捗率
74%

営業利益

通期計画 43

実績値 34



FY2018 3Q
(累計)

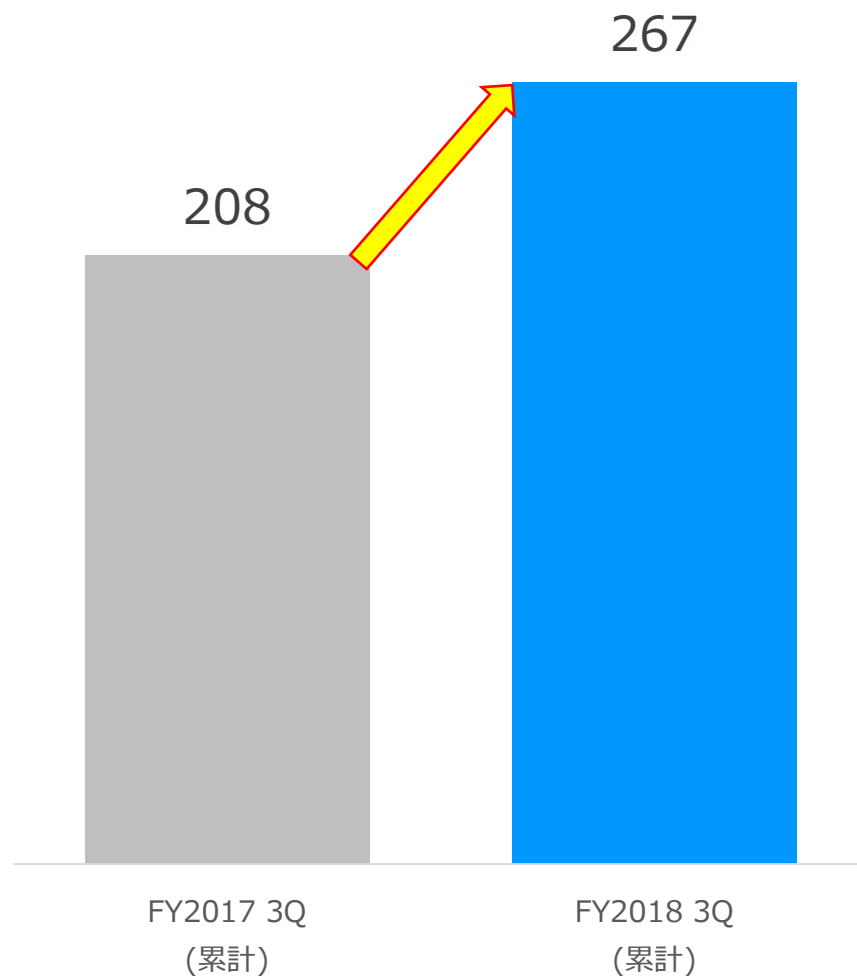
進捗率
79%

3. セグメント別業績

3－2. 韓国金融事業

単位：億円

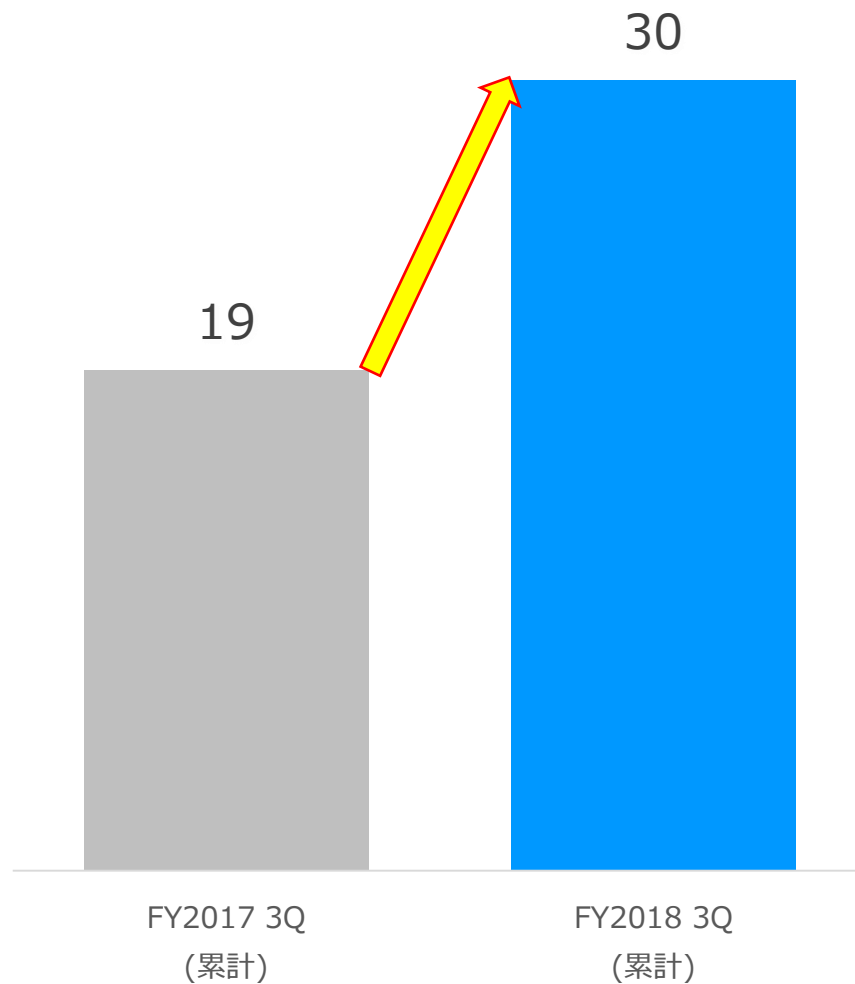
営業収益



前年同期比
28%増

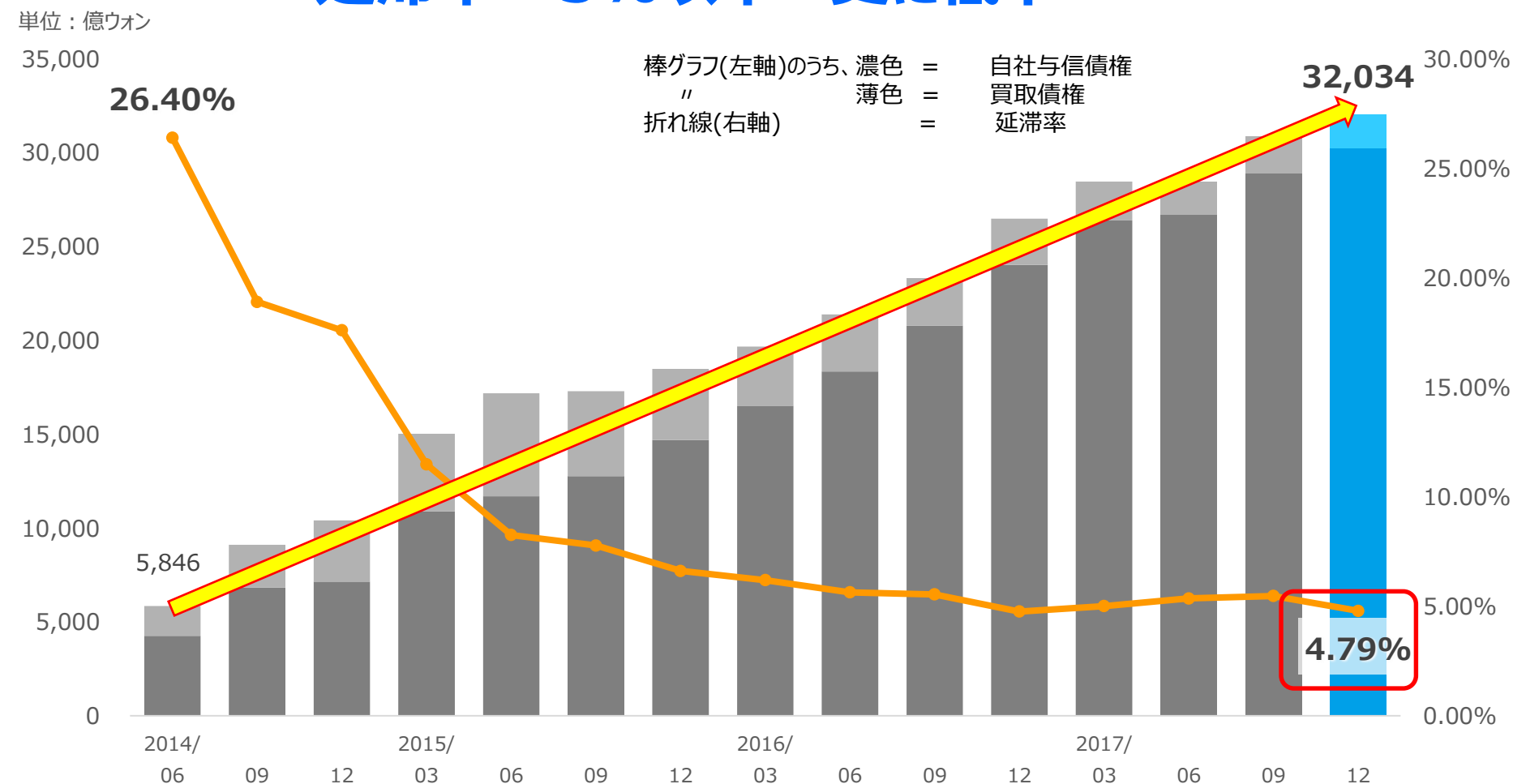
単位：億円

営業利益



前年同期比
58%増

残高＝規制強化の中でも順調に増加 延滞率＝5%以下へ更に低下

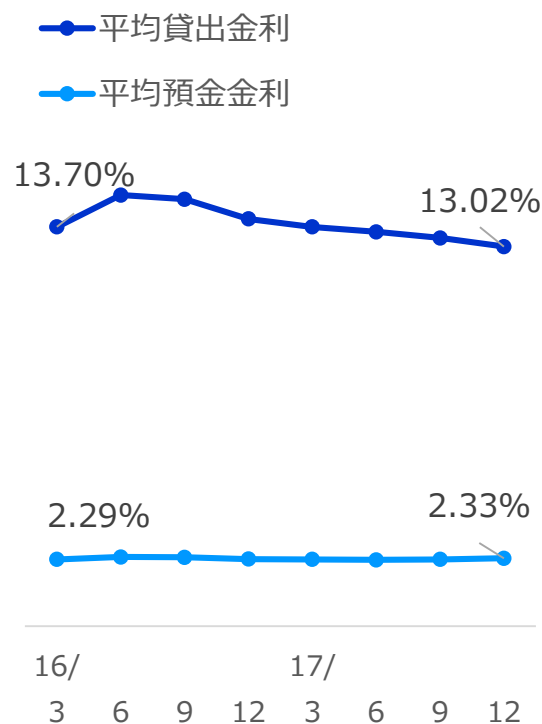


参考レート：1ウォン＝0.1062円

延滞率＝全体の貸出資産に占める30日以上延滞債権の割合

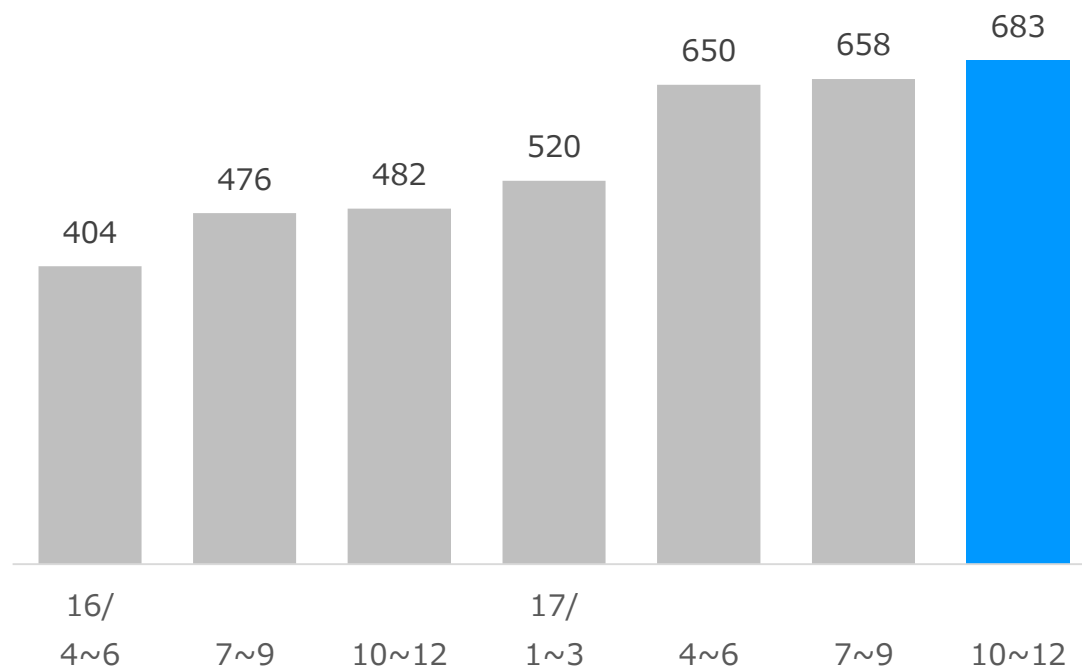
- 規制強化により、個人向け貸付から法人向け貸付へのポートフォリオ入替え
- 貸出金利が低下するも、アセットが増加し純金利収入はアップ

平均貸出金利と 平均預金金利



純金利収入

単位：億ウォン



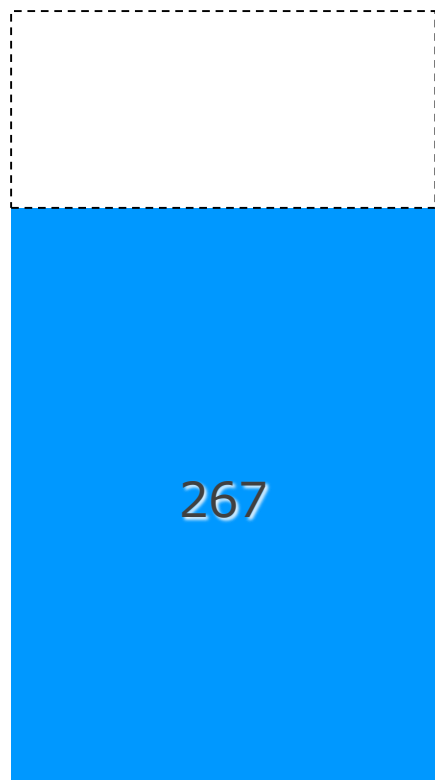
韓国金融事業 通期計画進捗（修正後）

単位：億円

営業収益

通期計画 358

実績値 267



FY2018 3Q
(累計)

進捗率
75%

営業利益

通期計画 35

実績値 30



FY2018 3Q
(累計)

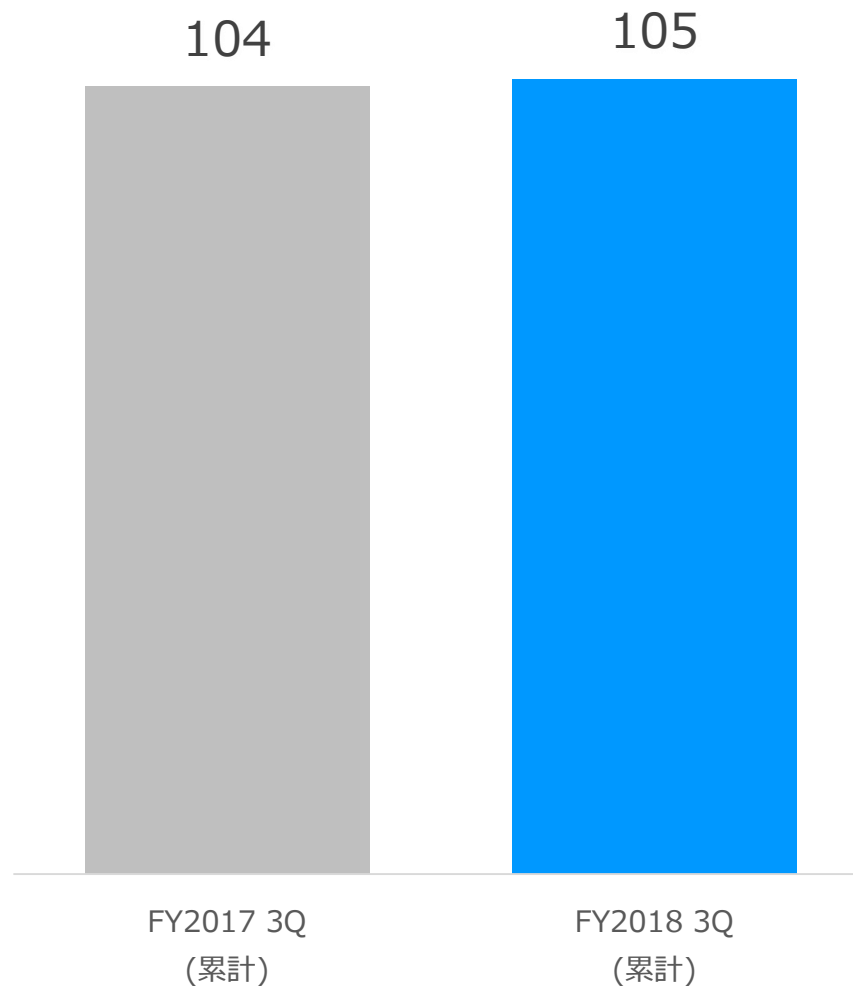
進捗率
86%

3. セグメント別業績

3－3. 東南アジア金融事業

単位：億円

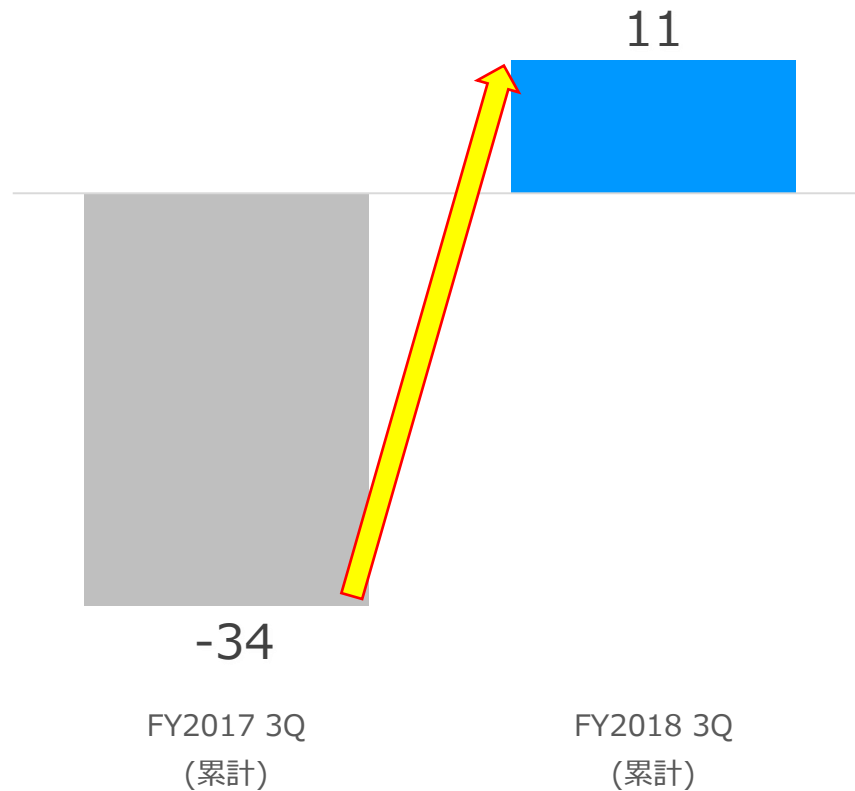
営業収益



前年同期比
1億円増

単位：億円

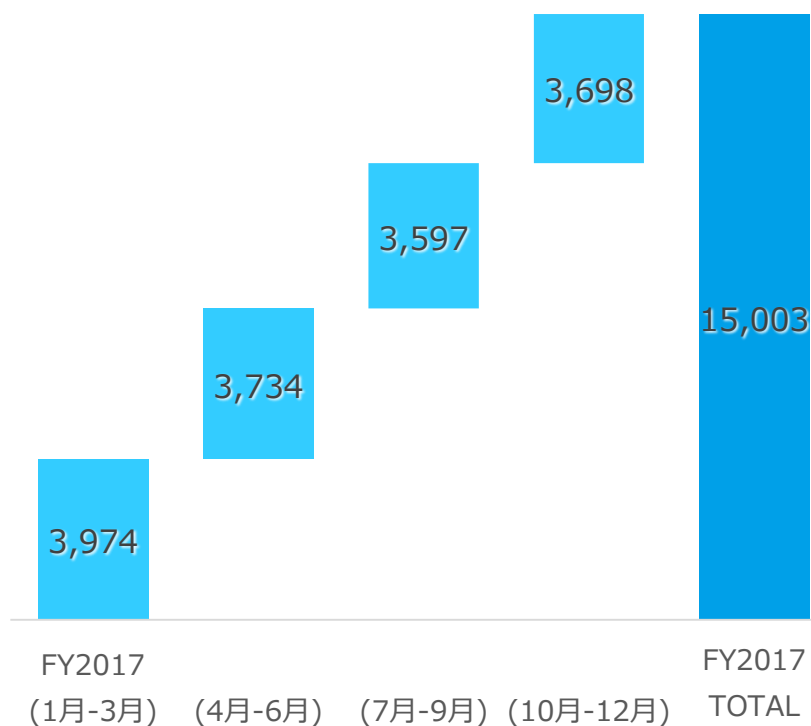
営業利益



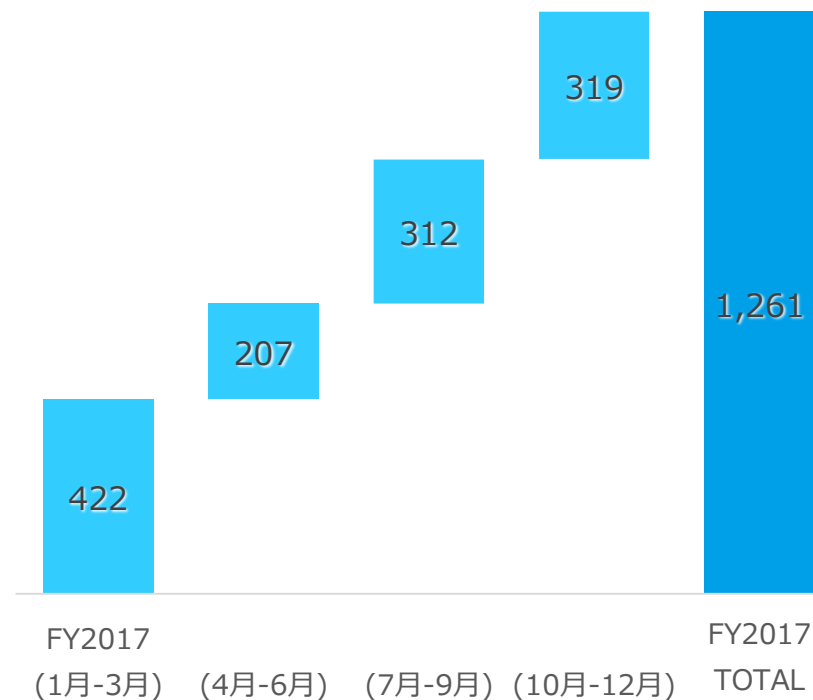
前年同期比
45億円改善

Jトラスト銀行は現地基準にて黒字が定着

営業収益



純利益



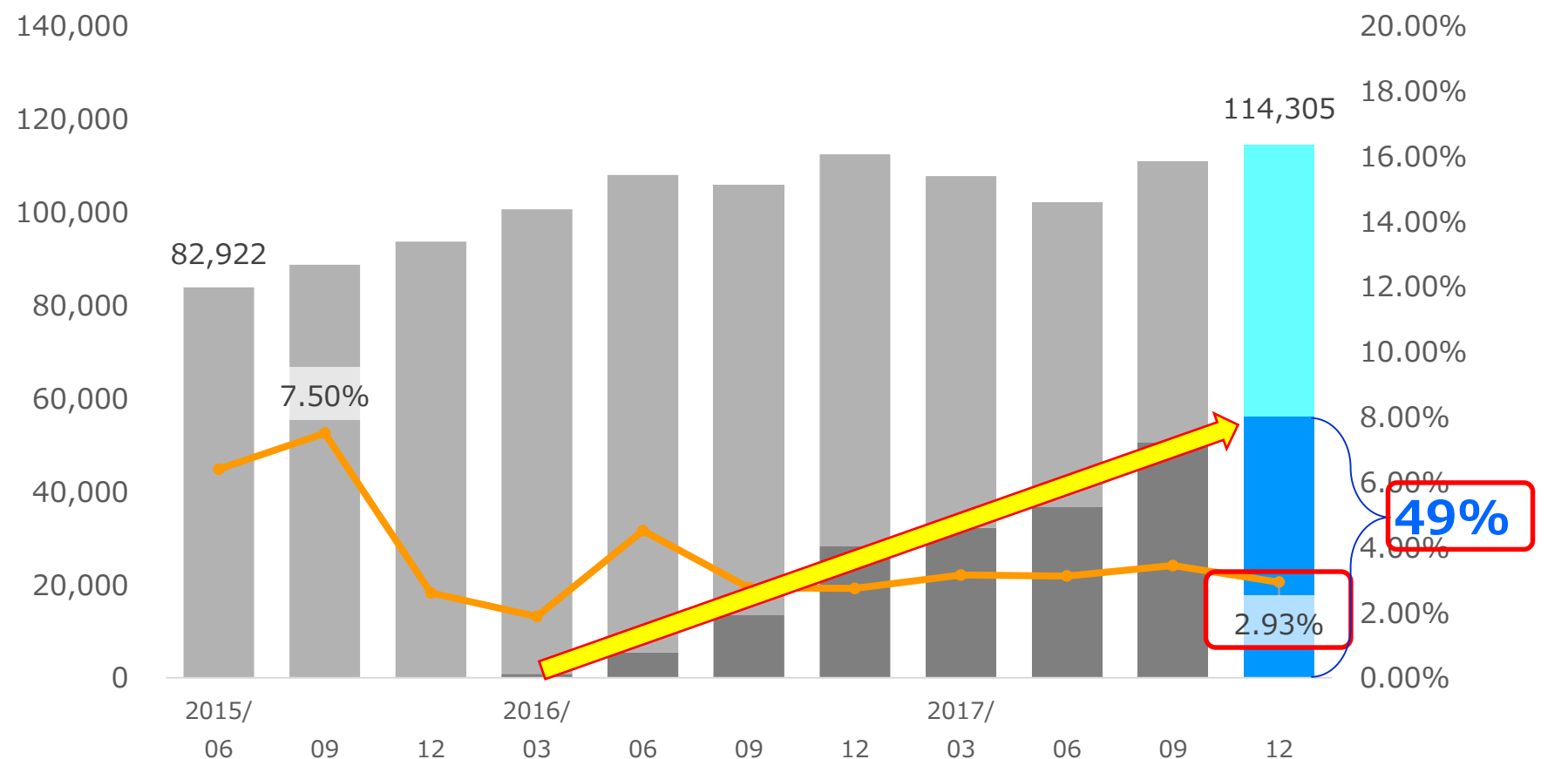
Jトラスト銀行：貸出資産残高と不良債権比率推移

単位：億ルピア

残高 = 戦略的にポートフォリオを入替 (大口→小口へ)

不良債権比率 = 低位で推移

棒グラフ(左軸)のうち、濃色 = 自社与信債権
" 薄色 = 譲受債権
折れ線(右軸) = 不良債権比率

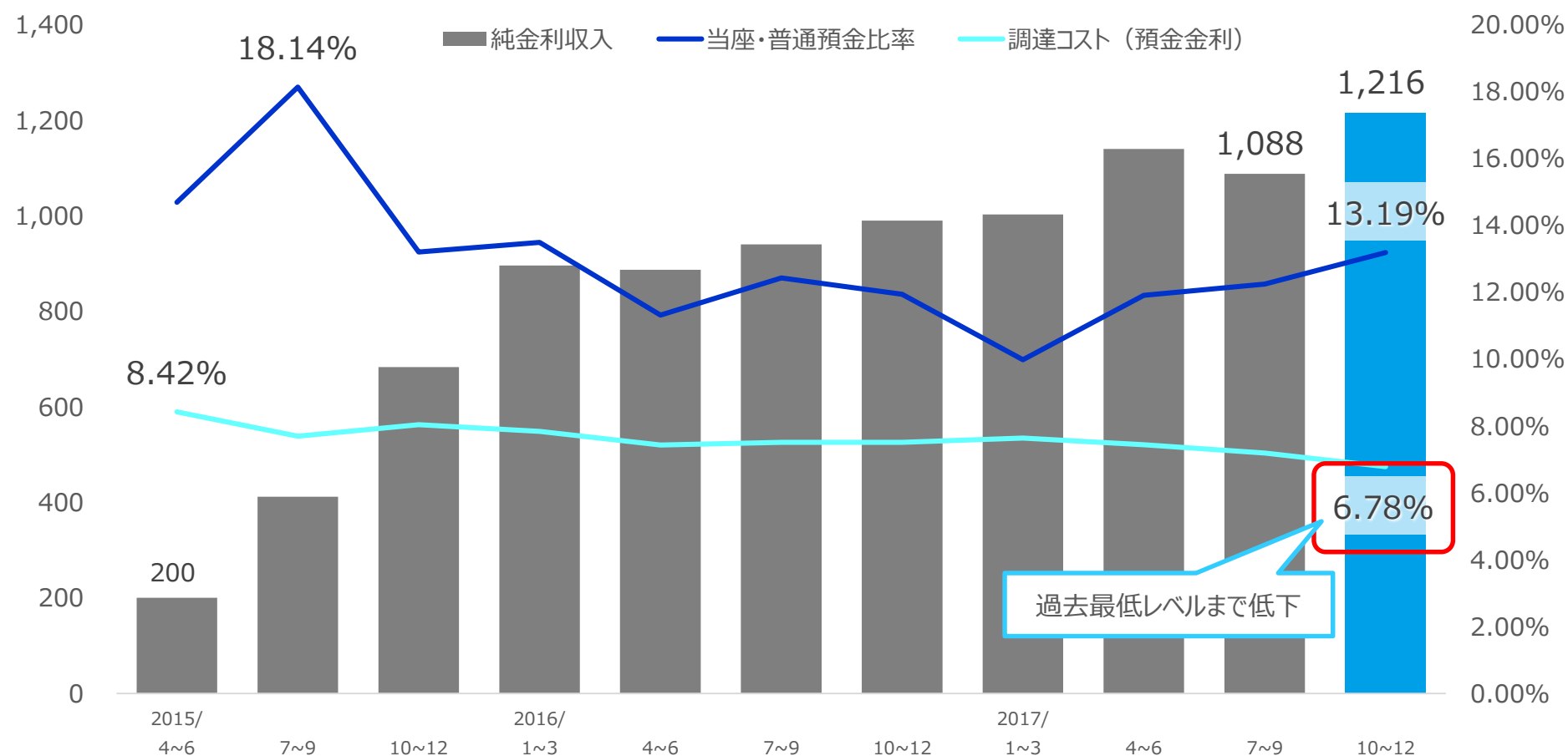


参考レート：1ルピア=0.0084円

不良債権比率 = 全体の貸出資産に占める90日以上延滞債権の割合

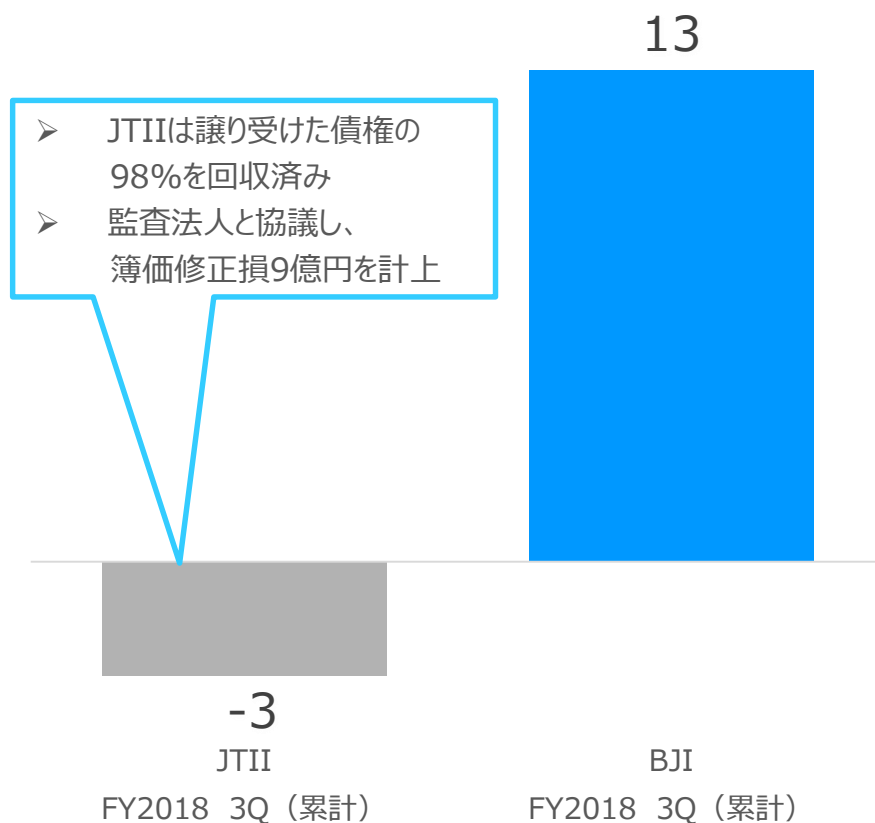
単位：億ルピア

マーケティング戦略が奏功しており 調達コストは着実に低下



単位：億円

営業利益



**BJIがJTIIの
損失をカバーし
黒字を計上**

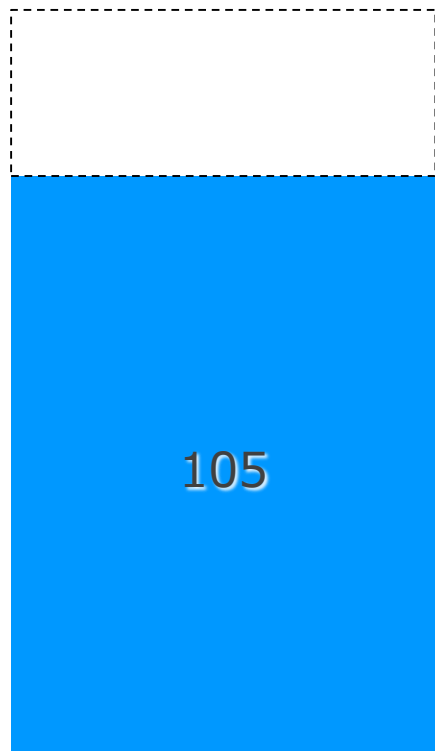
東南アジア金融事業 通期計画進捗（修正後）

単位：億円

営業収益

通期計画 135

実績値 105



FY2018 3Q
(累計)

進捗率
78%

営業利益

通期計画 10

実績値 11



FY2018 3Q
(累計)

進捗率
110%

3. セグメント別業績

3－4. 非金融事業

営業収益・営業利益（前年同期比）

非金融事業

	FY2017 3Q	FY2018 3Q	差異
営業収益	159億円	139億円	-20億円
営業利益	1億円	-4億円	-5億円

2018年3月 ワイドレジャー社へアドアーズ株式を譲渡予定



3. セグメント別業績

3－5. 投資事業

投資事業

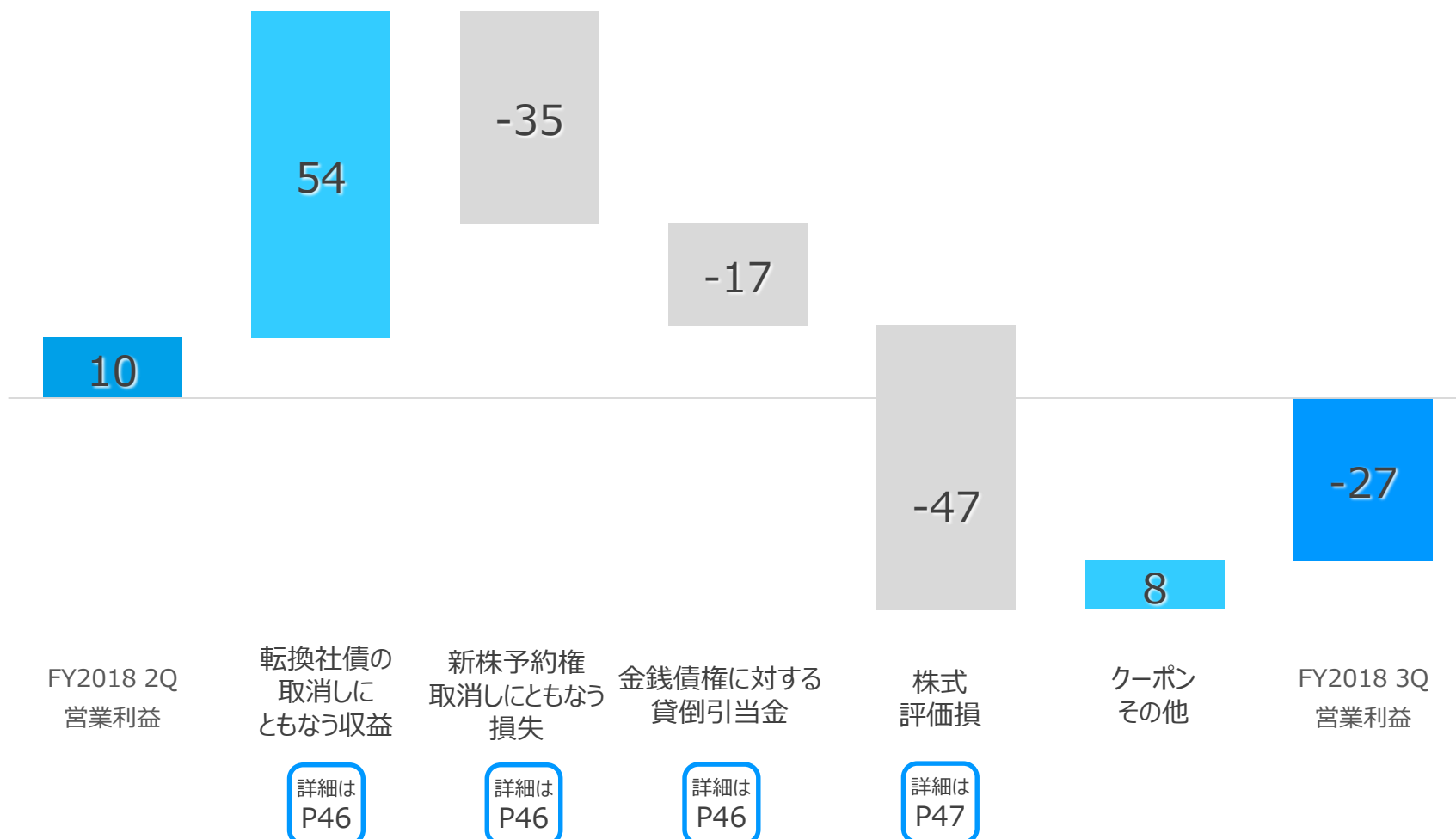
	FY2017 3Q	FY2018 3Q	差異	当初計画	修正計画
営業収益	76億円	70億円	-6億円	27億円	76億円
営業利益	77億円	-27億円	-104億円	25億円	-24億円

GL社転換社債のデリバティブ評価について

GL社転換社債の取消しにともない 金銭債権になったことで
今後デリバティブ評価損益は発生しない

単位：億円

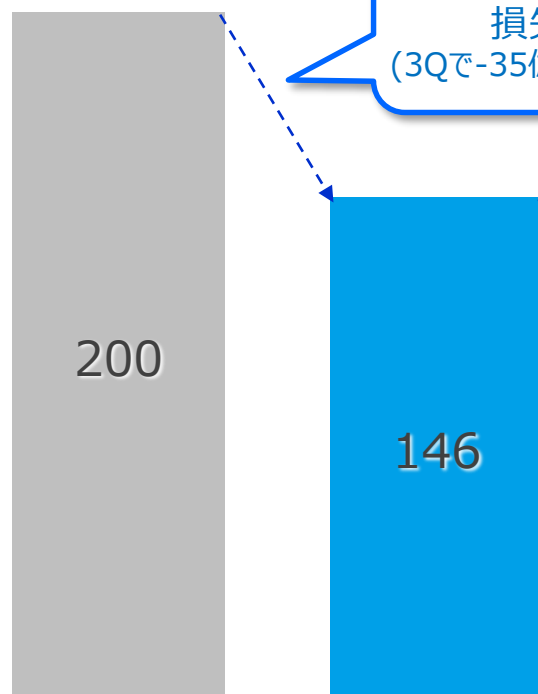
3Qに計上したGL社転換社債および株式の損益インパクト



単位：億円

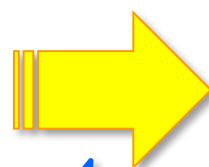
GL社の転換社債は金銭債権に債権区分を変更

転換社債



当初

3Q



転換社債契約の取消しにともない
金銭債権に

金銭債権



貸倒引当金

単位：億円

GL社株式の評価について

株価
18.27THB

76

取得時簿価

47億円の減損

6.80THB

29

12/末 簿価

4. 連結業績 通期計画進捗

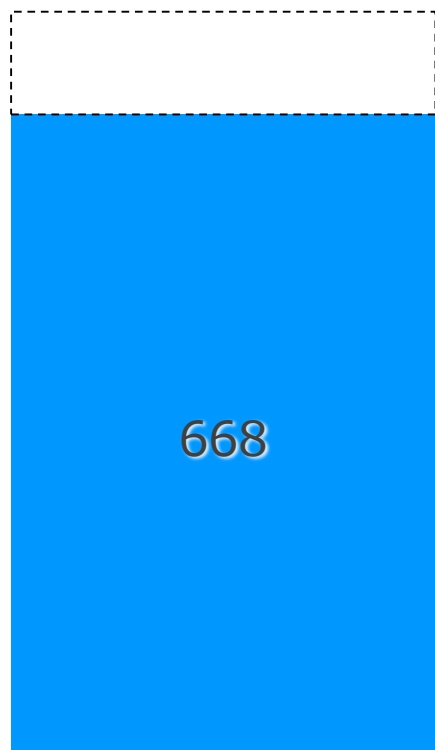
修正後の通期計画進捗

単位：億円

営業収益

通期計画 775

実績値 668



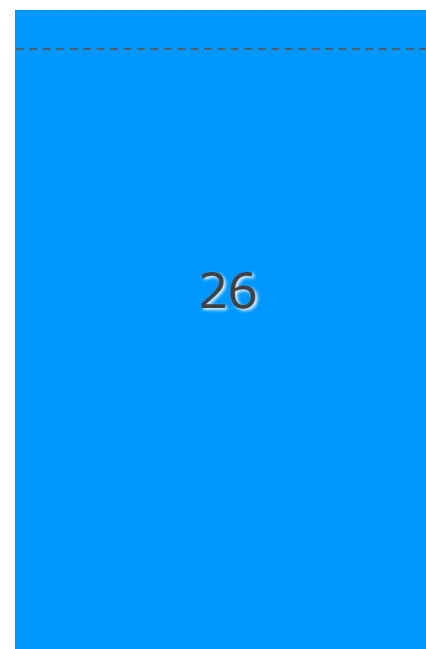
進捗率
86%

FY2018 3Q
(累計)

営業利益

通期計画 24

実績値 26



進捗率
108%

FY2018 3Q
(累計)

5. 現状の取り組みと今後の戦略について

代表取締役専務 執行役員
千葉 信育

これまでの経験・ノウハウを基に 東南アジアでリテールファイナンスの拡大を進める！



NIHON HOSHOU
PARTNER

安定成長

- ✓ 保証残高・請求債権残高共に順調に積みあがる
- ✓ 高い利益率の継続



JT Chinae Savings Bank
JT Savings Bank
JT Capital
TA Asset Management

急成長 → 安定成長

- ✓ 規制強化の中でも緩やかな成長を今後も継続
- ✓ 今後は債権回収事業を拡大



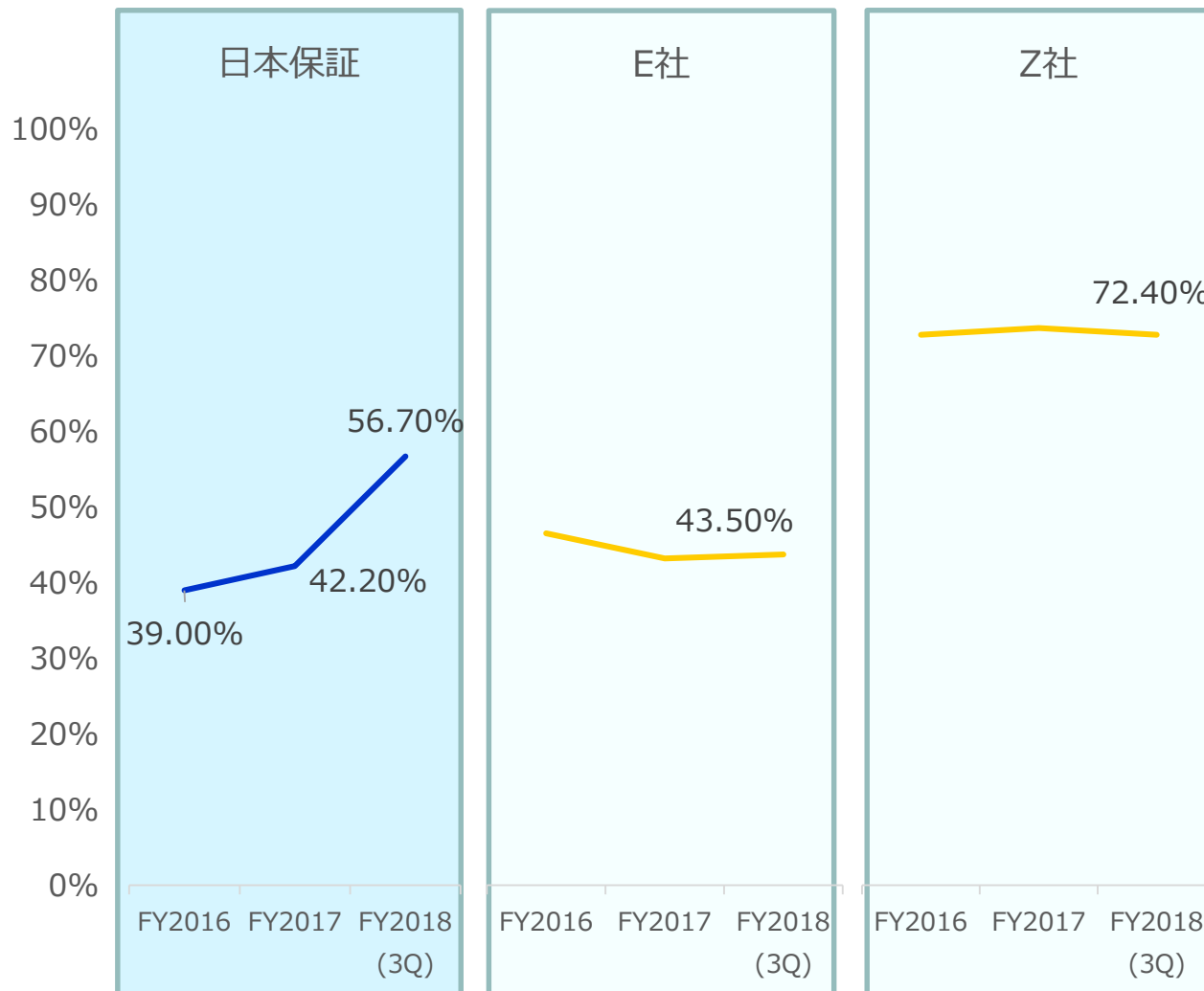
J TRUST BANK
J TRUST INVESTMENTS
Indonesia

成長ドライバー

- ✓ 営業黒字化が定着
- ✓ フィンテックを活用したデジタルバンキングを目指す



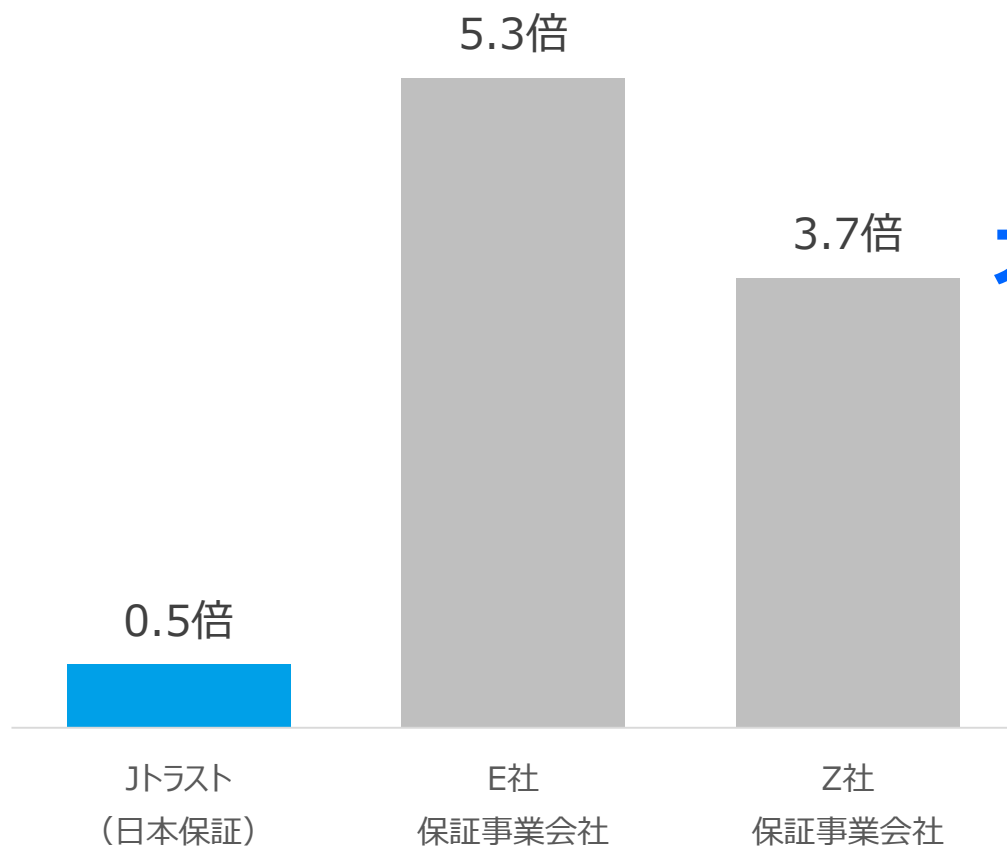
大手保証事業会社の営業利益率



高い利益率が
強み



大手保証事業会社とのPBR比較（2月1日現在）



**大手保証事業会社の
PBRは高水準**



地域金融機関（銀行）との積極的な取り組み

海外の投資不動産を担保とした新たなローン商品（保証）の開発

金利年2.60% IN HAWAII

所有しているハワイの不動産を担保に2棟目、3棟目を購入

融資形式	返済方式
融資金額	300万円以上5億円以内（2万円単位）海外建て
融資期間	1年以上20年以内（1年単位）
融資利率	年2.60%（変動金利・保証付貸付） ※基準利率（日本銀行）（以下「基準金利」という）を基準として、基準金利の定率に準じて、その変動幅（開示）に基づき算出されるものとします
返済利率	年2.60%（1年360日の日割計算）
返済方法	元金均等返済（元金均等返済）
返済方法	元金均等返済（元金均等返済）
担保	海外不動産（米国ハワイ州）を担保会社が第一順位で抵当権を設定させていただきます
保証会社	株式会社日本保証
保証期間	保証期間の初年度は1年以内
手数料	次の手数料を融資実行時に必要とする（融資金額に含めることが可能） ・融資手数料（融資金額の0.5%（税込）） ・保証手数料（融資金額の0.5%（税込）） ・保証料（融資実行後、以下保証料の形式にて手数料を徴収する） ・9年未満一括返済金×20%（税込） ・9年以上一括返済金×20%（税込）
火災保険	保証会社が加入を推奨しています

商品・金利・返済額のシミュレーション等に関するお問い合わせ
東京ローンセンター TEL 0120-793-190

受付時間 月～金曜日 9:00～17:00
(土・日・祝日・銀行休業日を除きます)

SAIKYO 西京銀行



日本保証

- ✓ 海外不動産を担保にした融資を保証するスキームは、日本国内の金融機関として初めて導入
- ✓ 独立系のファイナンス会社の強みを活かした顧客ニーズへの対応
- ✓ 培われた信用力により地方銀行との提携を実現 他行からもさまざまなオファーをいただき、シナジーを検討中





新たな規制および会計基準の変更について

2017年までに実施された規制の影響

- 貯蓄銀行の総量規制
- 貯蓄銀行において、貸付金利が20%以上融資への引当金負担が1.5倍に（キャピタルは1.3倍に）



2018年以降、実施予定の規制

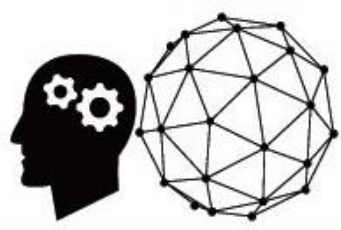
- IFRS 9 の導入
- 個人回生債権の制度変更（返済期間が5年から3年に短縮）
 - ✓ 平均減免率が約30%から最大60%の範囲内になる可能性あり
- 上限金利が27.9%から24%に引下げ（2018年2月より）
- 延滞債権の貸倒引当率が延滞区分に応じて3年間をかけて徐々にアップ
 - ✓ 正常債権の引当率 0.5%→最大1.5%に
 - ✓ 要注意債権の引当率 2%→最大15%に

規制強化はJトラストが成長した当時の日本と酷似 経験を活かす



Jトラストグループが誇るITシステム 1

AI チャットボット



▶ AI導入を見据えた自動顧客対応 (24時間、365日)

■ お客様からの相談対応及び情報提供：

- ①利用案内 ②商品推薦
- ③貸付申請 ④金融取引 など



フィンテック

▶ モバイルによりいつ、どこから でも銀行サービスを提供

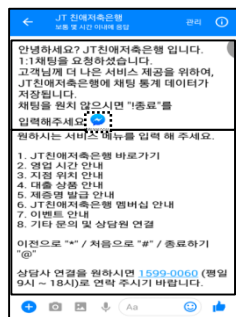
■ 銀行業務：

- ①モバイルバンキング ②与信
- ③ストックローン ④訪問営業
- ⑤非対面 ⑥WEBファックス
- ⑦画面ARS ⑧AIを見据えたチャットボット導入
- ⑨IR

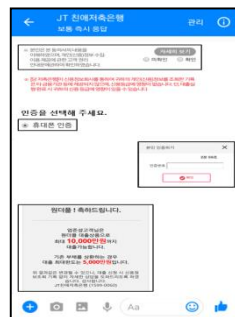
<メイン画面>



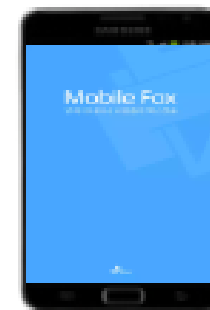
<一般相談>



<金融取引>



< モバイルバンキング > <非対面認証> <WEBファックス> <チャットボット>





Jトラストグループが誇るITシステム 2

Facebook金融サービス - SNS支店構築

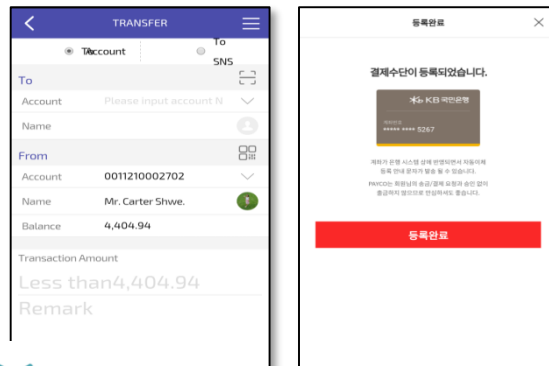


TO-BE

SNS HUB コネクション

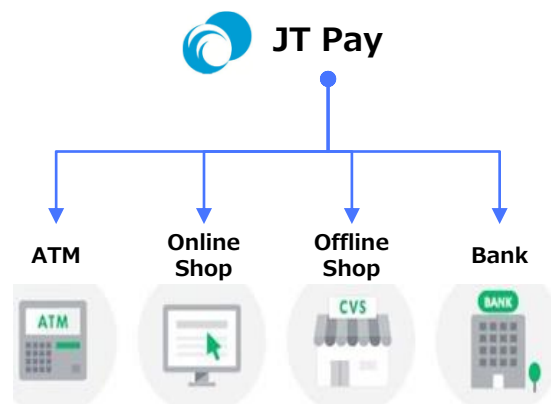


電子マネーアプリ開発中 - 簡単決済及び振込システム

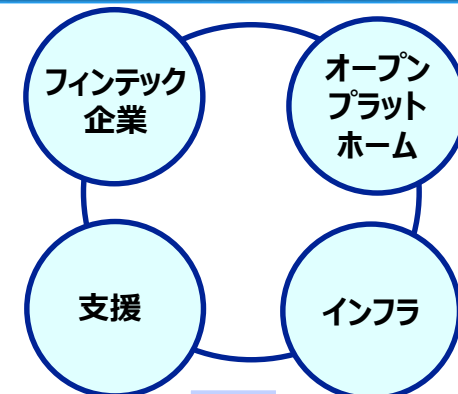


TO-BE

取引流れ

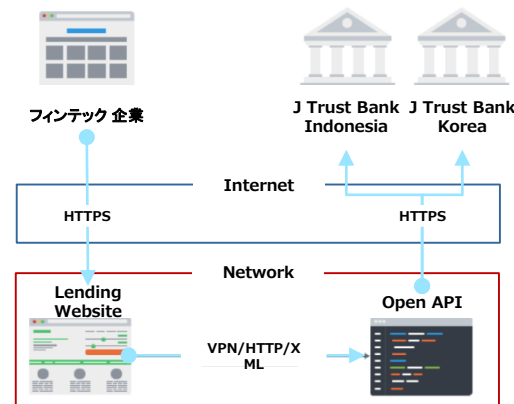


フィンテック企業との業務提携 - オープン API 管理プラットフォーム



TO-BE

オープン API コネクション



API : アプリケーションプログラミングインタフェースの略
ソフトウェアコンポーネントが互いにやりとりするのに使用するインタフェースの仕様



債権回収事業の強化



IRR
51%

債権の新たな買取（請求債権残高ベース）

2017年12月 188億ウォン（約20億円）

2017年12月 165億ウォン（約17億円）

2018年1月 645億ウォン（約68億円）

**規制強化により債権の売却案件は増加傾向
今後も債権買取を強化**



韓国JTラストグループの取り組み



- IT/IoT/フィンテックのフル活用
- 支店の統廃合による効率化（2015年以降）
 - ✓ JT親愛貯蓄銀行 15店舗→11店舗（4店舗閉鎖）
 - ✓ JTキャピタル 14店舗→6店舗（8店舗閉鎖）



フィンテックに関する研修会の開催

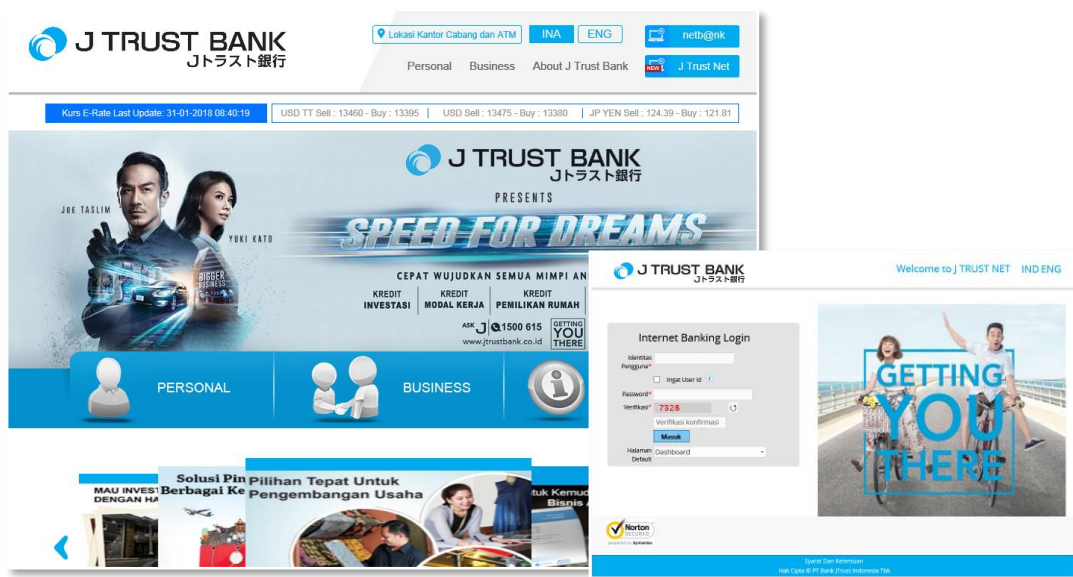
より筋肉質な事業体制へ
そして 東南アジアへの展開



新コアバンキングシステムスタート！

2018年1月に入替完了

今後バージョンアップを実施し デジタルバンキングを目指す



デジタルファイナステクノロジーに関する研修会の開催

【コアバンキングシステム入替えによるメリット】

- ① 生産性が向上し、オペレーション/レポーティング/決済業務など、業務効率がアップ
- ② お客様の利便性が向上（来店不要、資金決済の簡素化等）
- ③ フィンテックの基軸となる



2018年1月10日 四国銀行との業務提携を発表

- 四国銀行のお客様がインドネシアに進出する際の支援
- 日本国内および韓国の手金融機関からもオファーがあり、さまざまなシナジーを検討中



2018年1月11日付け フジサンケイビジネスアイ

日本資本である独自の強みを活かし、
インドネシア進出を全面的にサポート

小口の債権回収が強みのJトラストインベストメントインドネシア

- 日本および韓国で債権回収事業に従事したスペシャリストを現地に派遣
- 2年間で簿価の98%を回収

PARTIR

IRR
40%



TA Asset
TA Asset Management

IRR
51%



J TRUST INVESTMENTS
Indonesia

【債権買取価格100万円未満】

簿価価額対比：246%

【債権買取価格100～4,000万円】

簿価価額対比：144%



今後 他行からの債権買取にもチャレンジ

Jトラスト テクノロジー

- ・ フィンテック
- ・ オペレーション力
- ・ 与信&債権回収力

今後更に東南アジアで
リテールファイナンス事業を拡大

APPENDIX

セグメント別業績 / セグメント別営業利益（四半期比較）

（会計期間）

FY2018 1Q

FY2018 2Q

FY2018 3Q

国内金融事業

11億円

13億円

10億円

韓国金融事業

16億円

8億円

6億円

東南アジア金融事業

1億円

-3億円

13億円

投資事業

2億円

8億円

-37億円

非金融事業

-0億円

-2億円

-2億円

その他

-5億円

-8億円

-5億円

合計

25億円

16億円

-15億円

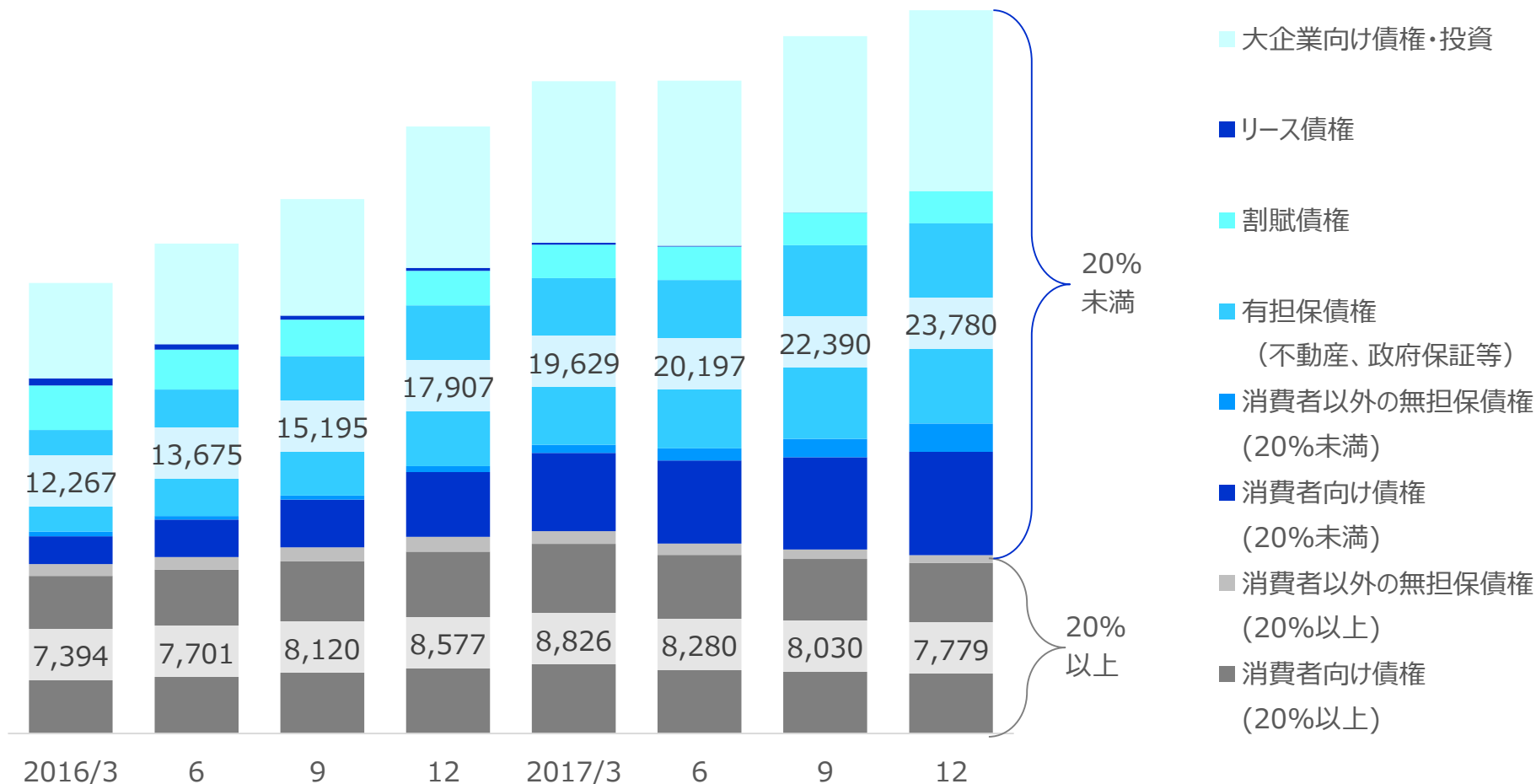
業績予想の修正（セグメント別）

		修正前計画	修正後計画	差異
国内金融事業	営業収益	107億円	95億円	-12億円
	営業利益	46億円	43億円	-3億円
韓国金融事業	営業収益	341億円	358億円	+17億円
	営業利益	32億円	35億円	+3億円
東南アジア金融事業	営業収益	167億円	135億円	-32億円
	営業利益	24億円	10億円	-14億円
投資事業	営業収益	27億円	76億円	+49億円
	営業利益	25億円	-24億円	-49億円
非金融事業	営業収益	245億円	95億円	-150億円
	営業利益	8億円	-15億円	-23億円
その他	営業収益	7億円	16億円	+9億円
	営業利益	-35億円	-25億円	+10億円
合計	営業収益	894億円	775億円	-119億円
	営業利益	100億円	24億円	-76億円

単位：億ウォン

債権ポートフォリオ（金額ベース）

貸付利率20%未満の債権を増加



※ 2017年7月計数より、IFRSベースで集計しております。なお、速報値としての位置づけのため、監査法人の監査を受けておりませんので、決算時の確定計数とは異なることがあります。

■ 国内金融事業

単位：億円

日本保証		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
債務保証残高	2017/03期	548	558	569	597	624	649	683	712	763	774	803	859
	2018/03期	894	935	988	1,030	1,060	1,121	1,150	1,190	1,288	1,293		
うち、アパートローン残高	2017/03期	145	156	186	212	240	264	287	317	373	386	408	472
	2018/03期	505	540	588	628	652	712	750	788	886	895		

■ 韓国金融事業

韓国金融事業		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合 計	2017/03期	20,148	20,622	21,376	21,936	22,823	23,315	24,234	25,789	26,485	27,169	27,811	28,457
	2018/03期	28,692	28,674	28,476	29,412	30,266	30,861	31,876	32,210	32,034	32,726		

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
銀行業における貸出金残高	JT親愛貯蓄銀行	2017/03期	12,265	12,494	11,815	13,215	13,806	14,232	14,919	16,215	16,249	16,678	16,977
		2018/03期	17,170	16,920	16,753	17,198	17,369	17,506	17,810	17,886	17,287	17,690	
	JT貯蓄銀行	2017/03期	3,681	3,868	5,243	5,626	5,754	5,725	5,783	5,846	6,311	6,437	6,630
		2018/03期	6,842	6,925	7,166	7,485	7,855	8,153	8,751	8,906	9,128	9,327	
合 計	2017/03期	15,946	16,362	17,059	18,842	19,560	19,957	20,703	22,061	22,560	23,115	23,607	23,925
	2018/03期	24,012	23,846	23,919	24,683	25,224	25,659	26,562	26,793	26,415	27,018		

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業貸付金残高	JTキャピタル	2017/03期	4,202	4,259	4,317	3,094	3,262	3,358	3,531	3,728	3,925	4,053	4,203
		2018/03期	4,679	4,828	4,556	4,728	5,041	5,201	5,314	5,417	5,619	5,708	

■ 東南アジア金融事業

単位：億ルピア

Jトラスト銀行インドネシア (BJI)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
銀行業における貸出金残高※	2017/03期	101,798	105,232	107,323	104,318	106,729	105,174	106,033	107,092	111,843	109,295	109,969	107,360
	2018/03期	106,218	104,974	102,108	104,818	106,806	110,812	112,001	112,200	114,305	115,661		

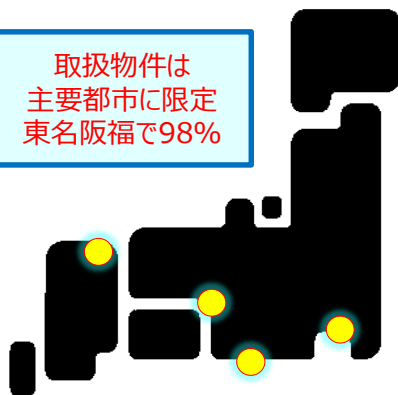
PT Group Lease Finance Indonesia (GLFI)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
GLFI残高	2017/03期	-	-	-	-	-	102	179	223	328	462	709	998
	2018/03期	1,169	1,329	1,425	1,627	1,804	1,923	2,075	2,211	2,429	2,396		
BJI融資残高 (GLFI関連)	2017/03期	-	-	-	-	-	25	91	132	232	359	591	864
	2018/03期	1,025	1,174	1,273	1,391	1,522	1,600	1,601	1,609	1,594	1,572		

3つの取り組みにより リスクを回避

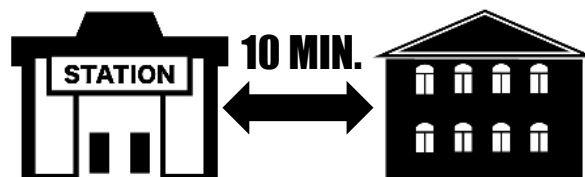


① 物件エリアの選別

取扱物件は
主要都市に限定
東名阪福で98%



② 最寄駅徒歩10分圏内



③ ハウスメーカーを厳選



・ 物件管理、修繕が適切に行われる
= 安心できるハウスメーカーを厳選
→ サブリース問題等のトラブル回避

入居率は98%超！

